

市庁舎整備に関するアンケート調査結果



平成 2 9 年 1 1 月

目次

1. 調査概要	1
1-1. 調査の目的	1
1-2. 実施概要	1
1-3. 配布対象者および回答率の構成	1
1-4. 調査項目	2
2. 調査結果	3
2-1. 回答者属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 家族構成	5
(4) 職業	6
(5) 居住期間	7
(6) 居住地	8
2-2. 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	9
(1) 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	9
(2) 年齢別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	10
(3) 家族構成別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	11
(4) 職業別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	12
(5) 居住期間別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	13
(6) 居住地別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向	14
(7) 回答の主な理由	15
2-3. 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設	18
(1) 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設	18
(2) 年齢別 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設	19
(3) 居住地別 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設	20
(4) その他を選んだ方の回答	21
2-4. 耐震補強工事の実施方法に関する意向	22
(1) 耐震補強工事の実施方法に関する意向	22
(2) 年齢別 耐震補強工事の実施方法に関する意向	23
(3) 居住地別 耐震補強工事の実施方法に関する意向	24
(4) 「3. その他」を選んだ方の回答及び各回答に寄せられた意見	25
2-5. 庁舎整備において重要な視点	26
(1) 庁舎整備において重要な視点	26
(2) 年齢別 庁舎整備において重要な視点	27
(3) 家族構成別 庁舎整備において重要な視点	28
(4) 職業別 庁舎整備において重要な視点	29

(5) 居住期間別	庁舎整備において重要な視点	30
(6) 居住地別	庁舎整備において重要な視点	31
(7) その他を選んだ方の回答		32
2-6. 本庁舎を訪れる頻度		33
(1) 本庁舎を訪れる頻度		33
(2) 年齢別	本庁舎を訪れる頻度	34
(3) 居住地別	本庁舎を訪れる頻度	35
2-7. 本庁舎を訪れる際の交通手段		36
(1) 本庁舎を訪れる際の交通手段		36
(2) 年齢別	本庁舎を訪れる際の交通手段	37
(3) 居住地別	本庁舎を訪れる際の交通手段	38
2-8. 本庁舎を訪れた用件		39
(1) 本庁舎を訪れた用件		39
(2) 年齢別	本庁舎を訪れた用件	40
(3) 居住地別	本庁舎を訪れた用件	41
2-9. 本庁舎を訪れて不便に感じたこと		42
(1) 本庁舎を訪れて不便に感じたこと		42
(2) 年齢別	本庁舎を訪れて不便に感じたこと	43
(3) 家族構成別	本庁舎を訪れて不便に感じたこと	44
(4) 職業別	本庁舎を訪れて不便に感じたこと	45
(5) 居住期間別	本庁舎を訪れて不便に感じたこと	46
(6) 居住地別	本庁舎を訪れて不便に感じたこと	47
(7) その他を選んだ方の回答		48
3. 自由記述回答欄に寄せられた回答		49
4. アンケート結果のまとめ		50

1. 調査概要

1-1. 調査の目的

本調査は、新庁舎の整備計画を策定するに当たり、円滑な計画作成に資するため、市民の意識及びニーズ等を把握することを目的として実施した。

1-2. 実施概要

アンケートの実施概要を以下に示す。

調査対象	市内在住の18歳以上の男女（無作為抽出）
対象者数	4,000人
調査期間	平成29年7月20日（調査票発送日）から平成29年8月31日
調査方法	調査票による本人記入方式（郵送による配布・回収）
回収結果	回答数1,601件（回答率40.0%）

1-3. 配布対象者および回答率の構成

配布対象者の抽出については、データの偏りを防ぐため、市内在住の18歳以上の人口を基に、性別、年代別、居住地別に分類し、各層の人口に比例させて4,000件の標本数を配分し、無作為抽出を行った。属性ごとに配布率および回答率を集計し、以下の表にまとめた。

- ・ 配布率（%）＝配布数（属性別）÷4,000（配布総数）
- ・ 回答率（%）＝回答数（属性別）÷配布数（属性別）

性別

	配布数	配布率	回答数	回答率
男	1,974	49.4%	703	35.6%
女	2,026	50.7%	890	43.9%
無効回答	—	—	8	—
合計	4,000	100.0%	1,601	40.0%

年齢別

	配布数	配布率	回答数	回答率
18歳～29歳	555	13.9%	115	20.7%
30歳～39歳	588	14.7%	184	31.3%
40歳～49歳	842	21.1%	292	34.7%
50歳～59歳	568	14.2%	252	44.4%
60歳～69歳	588	14.7%	309	52.6%
70歳以上	859	21.5%	442	51.5%
無効回答	—	—	7	—
合計	4,000	100.0%	1,601	40.0%

居住地域別

	配布数	配布率	回答数	回答率
大和田地域	984	24.6%	441	44.8%
高津・緑ヶ丘地域	893	22.3%	306	34.3%
八千代台地域	717	17.9%	284	39.6%
睦地域	172	4.3%	64	37.2%
村上地域	604	15.1%	247	40.9%
阿蘇地域	209	5.2%	56	26.8%
勝田台地域	421	10.5%	175	41.6%
無効回答	—	—	28	—
合計	4,000	100.0%	1,601	40.0%

男女別では、男性が 35.6%、女性が 43.9%と女性のほうがやや回答率が高い結果となった。年齢別では、20 代以下の若年層が約 20%と低い値にとどまっているのに対し、60 代以降では 50%以上と、年齢層が高くなるほど高い回答率となった。

1-4. 調査項目

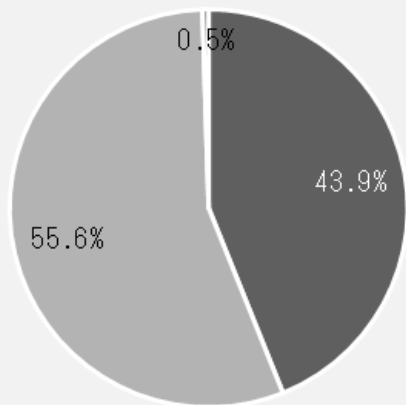
- 問 1 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向
- 問 2 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設
- 問 3 耐震補強工事の実施方法に関する意向
- 問 4 庁舎整備において重要な視点
- 問 5 本庁舎を訪れる頻度
- 問 6 本庁舎を訪れる際の交通手段
- 問 7 本庁舎を訪れた用件
- 問 8 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

2. 調査結果

2-1. 回答者属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が 43.9%、「女性」が 55.6%となっている。



■男性 ■女性 ■無効回答

選択肢	集計	割合
男性	703	43.9%
女性	890	55.6%
無効回答	8	0.5%
合計	1,601	100.0%

図 2-1.1 性別

(2) 年齢

回答者の年齢層は、「70～79 歳」が 21.2%、「60～69 歳」が 19.3%、「40～49 歳」が 18.2%の順になっている。

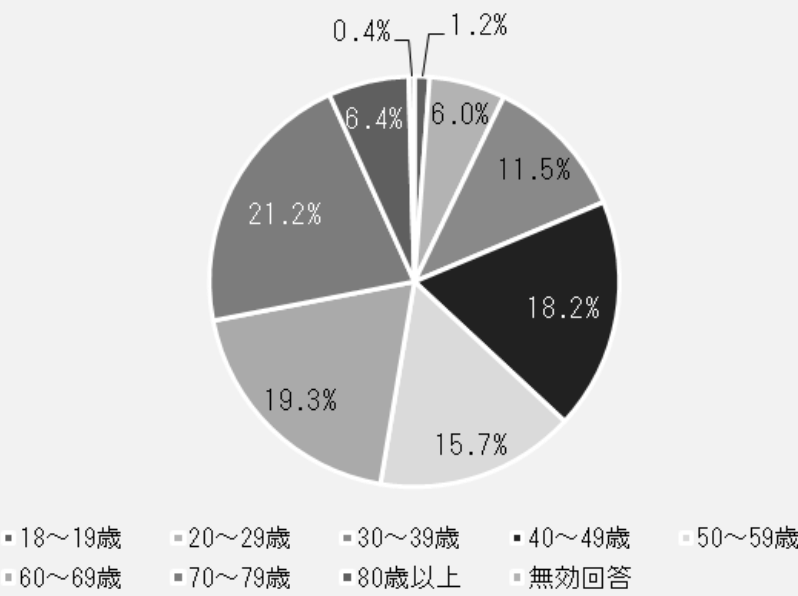


図 2-1.2 年齢

選択肢	集計	割合
18～19歳	19	1.2%
20～29歳	96	6.0%
30～39歳	184	11.5%
40～49歳	292	18.2%
50～59歳	252	15.7%
60～69歳	309	19.3%
70～79歳	340	21.2%
80歳以上	102	6.4%
無効回答	7	0.4%
合計	1,601	100.0%

(3) 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦と子ども（二世世代世帯）」が 41.2%、「夫婦のみ（一世世代世帯）」が 28.7%、「単身」が 12.6%の順に多くなっている。

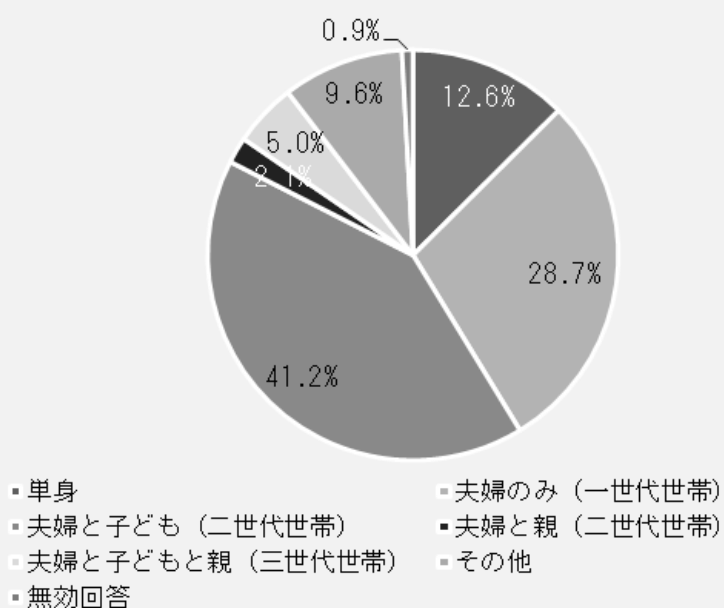


図 2-1.3 家族構成

選択肢	集計	割合
単身	201	12.6%
夫婦のみ（一世世代世帯）	460	28.7%
夫婦と子ども（二世世代世帯）	660	41.2%
夫婦と親（二世世代世帯）	33	2.1%
夫婦と子どもと親（三世世代世帯）	80	5.0%
その他	153	9.6%
無効回答	14	0.9%
合計	1,601	100.0%

(4) 職業

回答者の職業は、「会社員」26.0%、「無職」24.2%、「専業主婦（夫）」17.2%の順になっている。

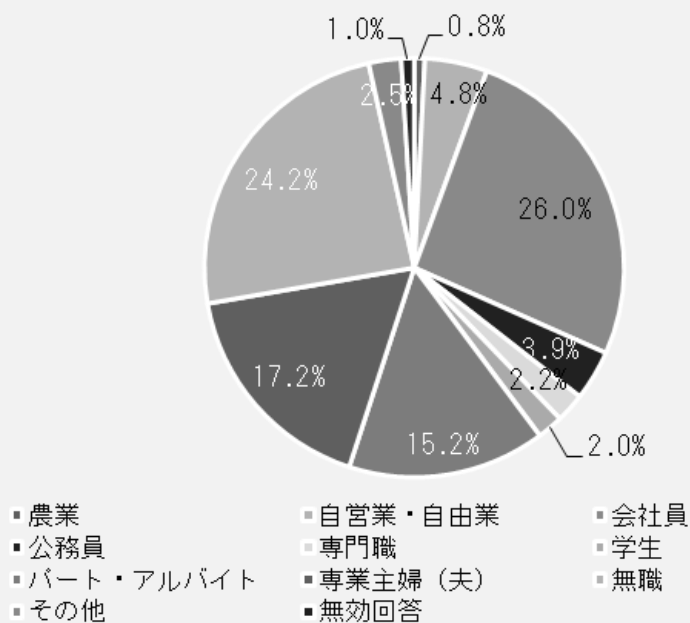


図 2-1.4 職業

選択肢	集計	割合
農業	13	0.8%
自営業・自由業	77	4.8%
会社員	417	26.0%
公務員	62	3.9%
専門職（医師・弁護士など）	36	2.2%
学生	32	2.0%
パートタイマー・アルバイト	244	15.2%
専業主婦（夫）	276	17.2%
無職	388	24.2%
その他	40	2.5%
無効回答	16	1.0%
合計	1,601	100.0%

(5) 居住期間

回答者が八千代市に居住している期間は、「30年以上」42.5%、「20～30年未満」17.3%、「10～15年未満」が10.2%となっており、回答者全体の約60%が20年以上八千代市に居住している。

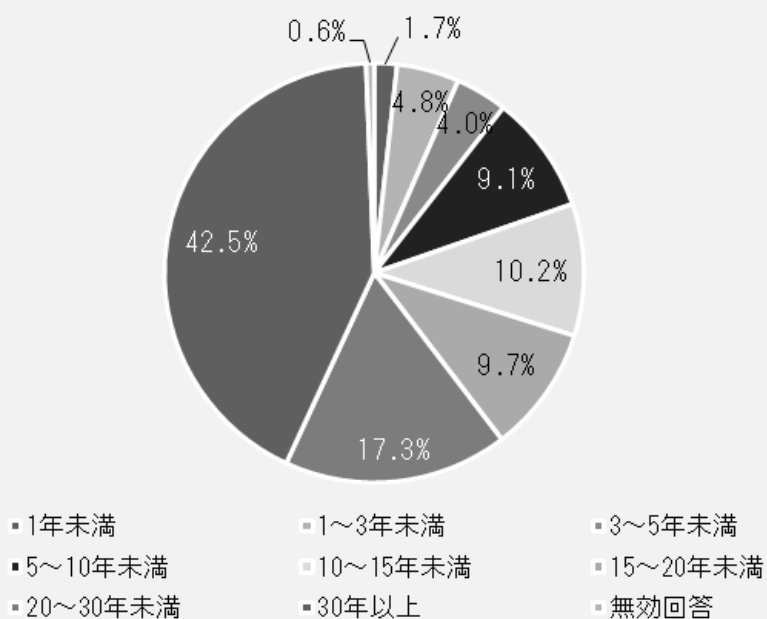


図 2-1.5 居住期間

選択肢	集計	割合
1年未満	28	1.7%
1～3年未満	77	4.8%
3～5年未満	64	4.0%
5～10年未満	146	9.1%
10～15年未満	163	10.2%
15～20年未満	156	9.7%
20～30年未満	277	17.3%
30年以上	680	42.5%
無効回答	10	0.6%
合計	1,601	100.0%

(6) 居住地

回答者の居住地は、現市庁舎が位置する「大和田地域」が 27.5%と最も多く、次いで「高津・緑が丘地域」19.1%、「八千代台地域」17.7%となっている。

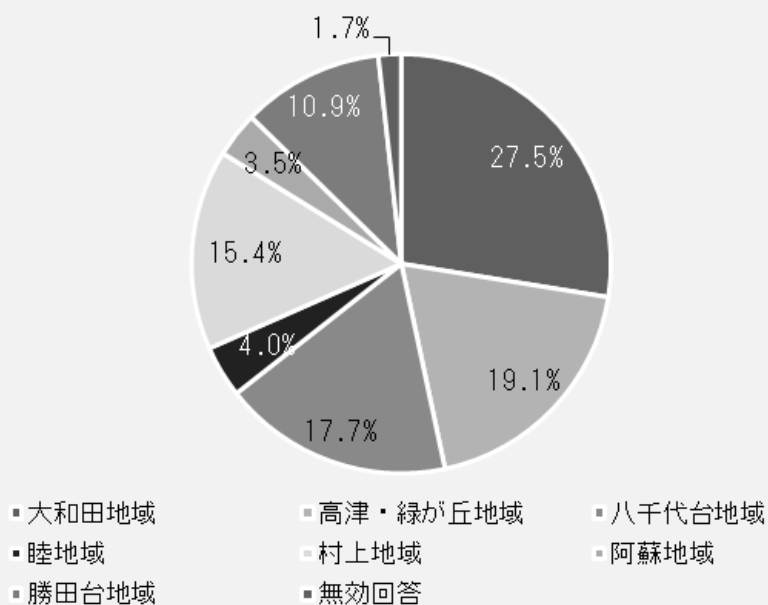


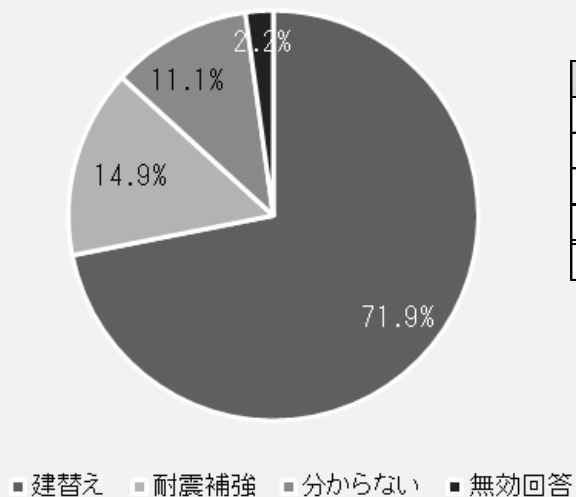
図 2-1.6 居住地

選択肢	集計	割合
大和田地域	441	27.5%
高津・緑が丘地域	306	19.1%
八千代台地域	284	17.7%
睦地域	64	4.0%
村上地域	247	15.4%
阿蘇地域	56	3.5%
勝田台地域	175	10.9%
無効回答	28	1.7%
合計	1,601	100.0%

2-2. 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

(1) 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

問 1. 市では本庁舎の耐震不足、建物・設備の老朽化、庁舎の分散化など様々な課題を踏まえ、本庁舎の耐震化整備について検討を進めていますが、あなたはどのような方法がよいと考えますか。



選択肢	集計	割合
建替え	1,151	71.9%
耐震補強	238	14.9%
分からない	177	11.1%
無効回答	35	2.2%
合計	1,601	100.0%

図 2-2.1 本庁舎の耐震化整備の方法

回答者のうち、本庁舎の「建替え」と回答した割合は 71.9%、「耐震補強」と回答した割合は 14.9%、「分からない」と回答した割合は 11.1%となった。

(2) 年齢別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

年齢別に本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向を見てみると、20代以上については、年齢によって「建替え」および「耐震補強」の比率に大きな差異はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率となっている。10代については、「耐震補強」と回答する割合が平均よりもやや高くなっている。

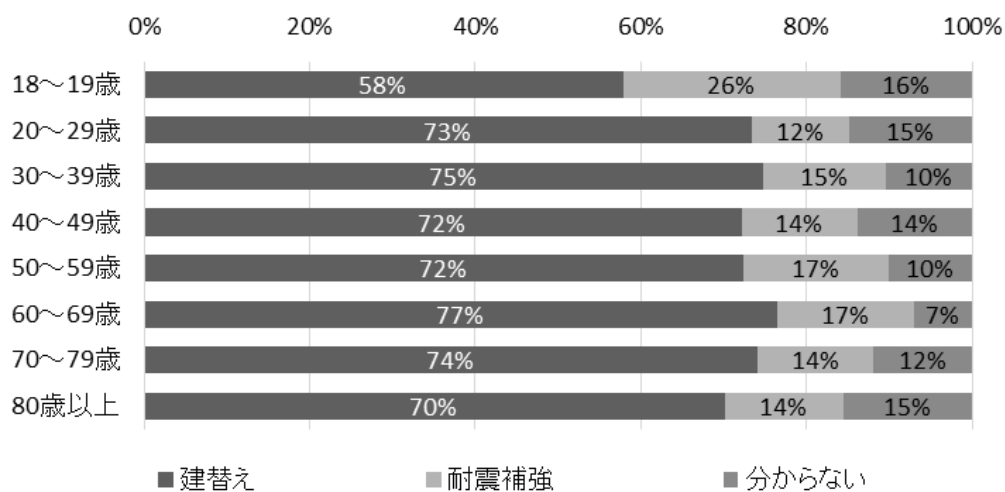


図 2-2.2 年齢別 本庁舎の耐震化整備の方法

※属性別グラフの割合は、回答総数から無効回答数を除いて集計している。(以下同様)

選択肢	建替え	耐震補強	分からない	無効回答	合計
18～19歳	11	5	3	0	19
20～29歳	69	11	14	2	96
30～39歳	136	27	19	2	184
40～49歳	210	41	40	1	292
50～59歳	179	43	25	5	252
60～69歳	232	50	21	6	309
70～79歳	244	46	39	11	340
80歳以上	68	14	15	5	102
無効回答	2	1	1	3	7
合計	1,151	238	177	35	1,601

(3) 家族構成別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

家族構成別に本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向を見てみると、「夫婦と親」に関しては、全体の傾向と比較して「耐震補強」と回答した割合がやや低くなっている。

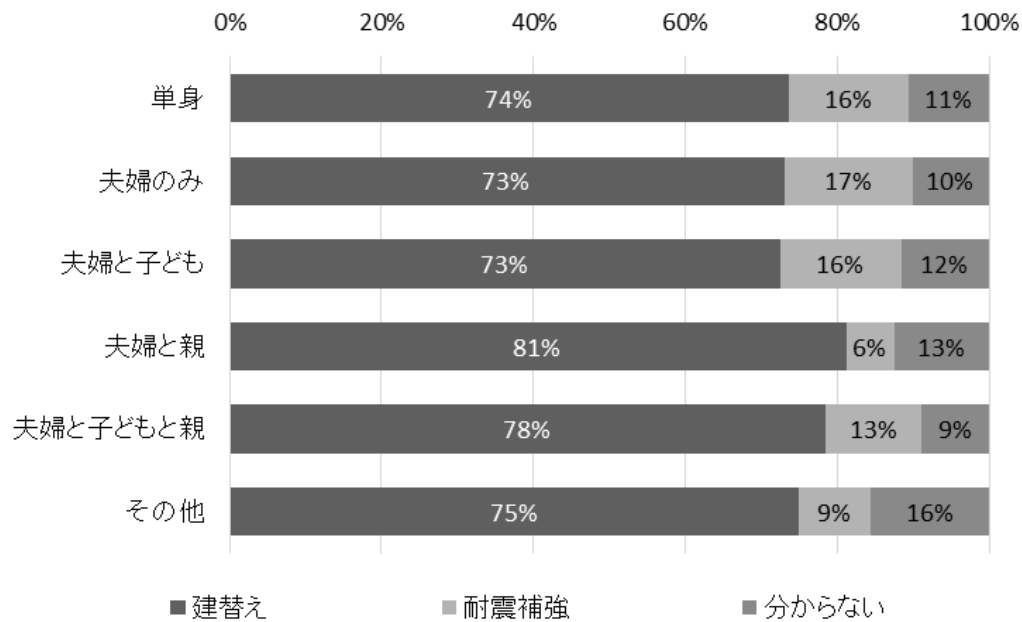


図 2-2.3 家族構成別 本庁舎の耐震化整備の方法

選択肢	建替え	耐震補強	分からない	無効回答	合計
単身	145	31	21	4	201
夫婦のみ	328	76	45	11	460
夫婦と子ども	473	104	75	8	660
夫婦と親	26	2	4	1	33
夫婦と子どもと親	62	10	7	1	80
その他	111	14	23	5	153
無効回答	6	1	2	5	14
合計	1,151	238	177	35	1,601

(4) 職業別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

職業別に本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向を見てみると、「農業」、「会社員」、「公務員」、「アルバイト」、「専業主婦（夫）」については、「建替え」と回答する割合が平均よりも高くなっている。一方で「専門職」、「学生」、「無職」については、「耐震補強」と回答する割合が平均よりもやや高くなっている。

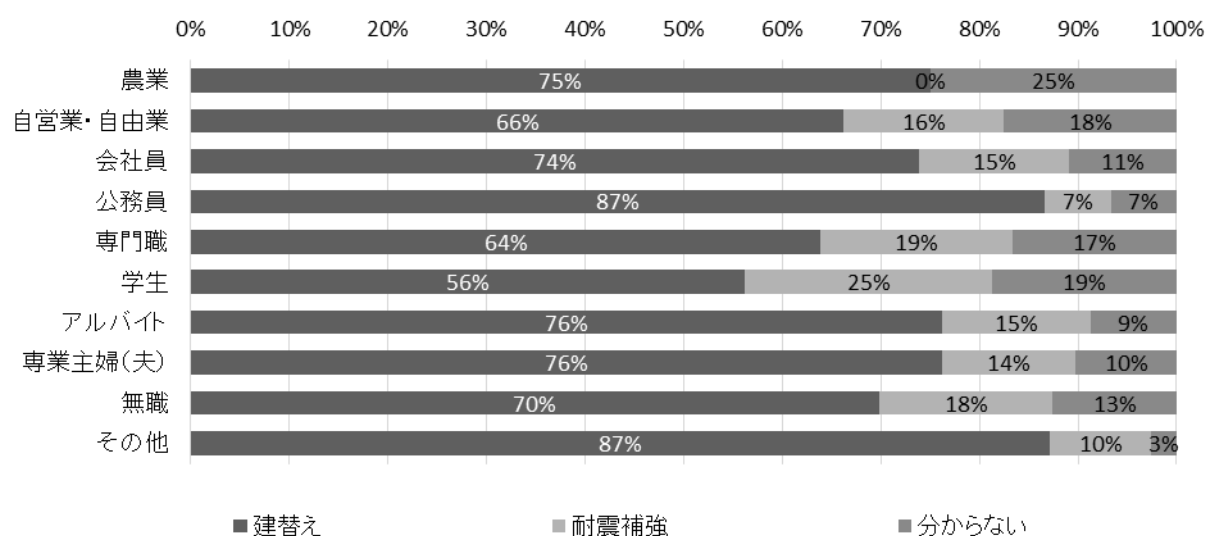


図 2-2.4 職業別 本庁舎の耐震化整備の方法

選択肢	建替え	耐震補強	分からない	無効回答	合計
農業	9	0	3	1	13
自営業・自由業	49	12	13	3	77
会社員	306	63	45	3	417
公務員	52	4	4	2	62
専門職	23	7	6	0	36
学生	18	8	6	0	32
アルバイト	183	36	21	4	244
専業主婦（夫）	208	37	28	3	276
無職	261	66	47	14	388
その他	34	4	1	1	40
無効回答	8	1	3	4	16
合計	1,151	238	177	35	1,601

(5) 居住期間別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

居住期間別に本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向を見てみると、居住期間が「3～5年未満」に関しては、「建替え」と回答する割合が83%とやや高くなっているが、その他は居住期間によって「建替え」及び「耐震補強」の比率に大きな差異はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率となっている。

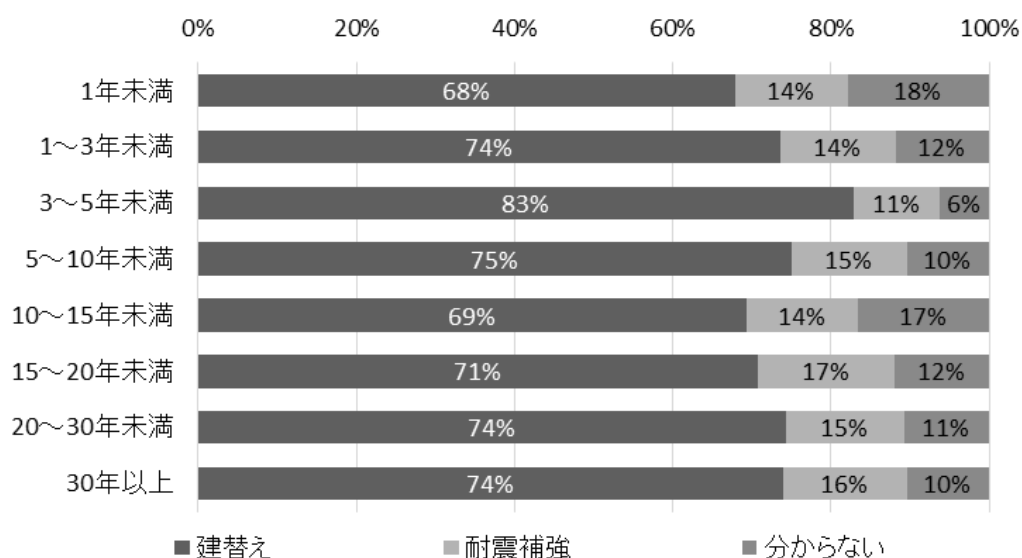


図 2-2.5 居住期間別 本庁舎の耐震化整備の方法

選択肢	建替え	耐震補強	分からない	無効回答	合計
1年未満	19	4	5	0	28
1～3年未満	56	11	9	1	77
3～5年未満	53	7	4	0	64
5～10年未満	108	21	15	2	146
10～15年未満	113	23	27	0	163
15～20年未満	107	26	18	5	156
20～30年未満	202	41	29	5	277
30年以上	490	104	69	17	680
無効回答	3	1	1	5	10
合計	1,151	238	177	35	1,601

(6) 居住地別 本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向

居住地別に本庁舎の耐震化整備の方法に関する意向を見てみると、居住地によって「建替え」および「耐震補強」の比率に大きな差異はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率となっている。

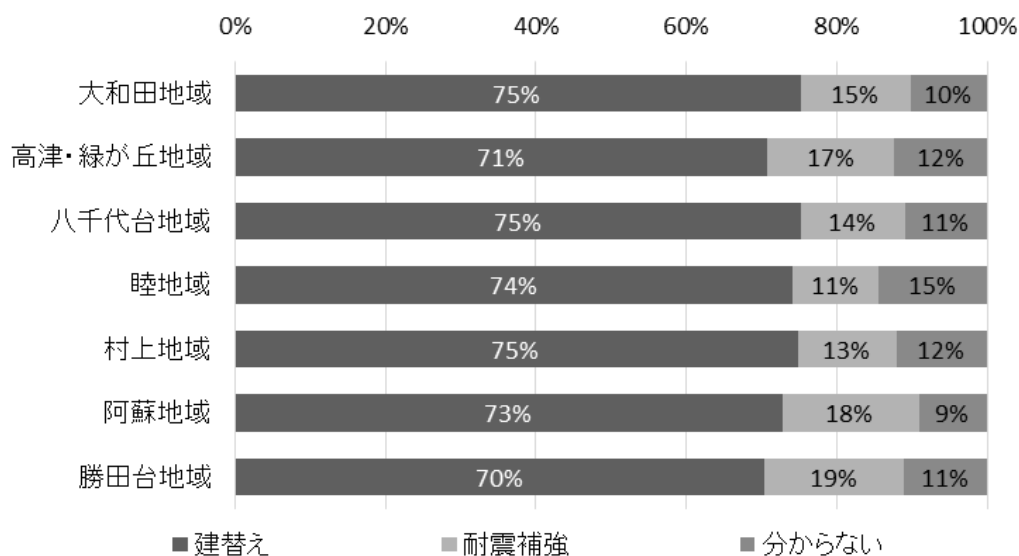


図 2-2.6 居住地別 本庁舎の耐震化整備の方法

選択肢	建替え	耐震補強	分からない	無効回答	合計
大和田地域	327	64	44	6	441
高津・緑が丘地域	213	51	37	5	306
八千代台地域	207	38	30	9	284
睦地域	46	7	9	2	64
村上地域	181	32	29	5	247
阿蘇地域	40	10	5	1	56
勝田台地域	121	32	19	3	175
無効回答	16	4	4	4	28
合計	1,151	238	177	35	1,601

(7) 回答の主な理由

各回答を選択した理由は、以下のとおりである。

1. 「建替え」と回答した方の意見

- ・ 問1に「建替え」と回答した1,151人のうち、選択理由について591人から回答があった。
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 市民の安全に関わる意見」、「2. 既存庁舎の老朽化に関わる意見」、「3. 既存庁舎の利用しやすさに関わる意見」、「4. 経済性に関わる意見」、「5. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は728件であった。

		件数	割合
1	市民の安全に関わる意見	114	15.7%
	災害時における行政機能維持のため	32	4.4%
	災害時における避難場所としての機能確保	10	1.4%
	安全性確保のため	28	3.8%
	耐震性確保のため	44	6.0%
2	既存庁舎の老朽化に関わる意見	140	19.2%
	老朽化が目立つため	107	14.7%
	築年数が経過しているため	21	2.9%
	汚い・暗いため	12	1.6%
3	既存庁舎の利用しやすさに関わる意見	76	10.4%
	不便な(利用しづらい)ため	31	4.3%
	ユニバーサルデザインを希望するため	10	1.4%
	わかりにくい	10	1.4%
	庁舎の合同化を希望するため	25	3.4%
4	経済性に関わる意見	269	37.0%
	必要な投資であるため	8	1.1%
	長期的視点で合理的と判断したため	142	19.5%
	いずれ建て替えが必要であるため	119	16.3%
5	その他	129	17.7%
	耐震補強では課題解決が困難であるため	17	2.3%
	20万都市のイメージに相応しいもの、街のシンボル、イメージアップ	27	3.7%
	その他 本計画に対する要望・提案	22	3.0%
	アンケート実施に関わること	9	1.2%
	市の財政・財源に関わること	28	3.8%
	職員の窓口対応・職場環境に関わること	12	1.6%
	大地震への不安	6	0.8%
	他の事業に関わること	4	0.5%
	その他	4	0.5%
合計		728	100.0%

- 回答の上位は、「長期的視点で合理的と判断したため」、「いずれ建て替えが必要であるため」、「老朽化が目立つため」の順となっており、「長期的視点で合理的と判断したため」、「いずれ建て替えが必要であるため」と回答した方の意見が総意見数の35%を占める。
- 代表的な意見
 - ・ 長期的視点で合理的と判断したため
「現在の各庁舎の築年数を考慮すると、各課題を解決できる建替えを前倒して行った方が長期的にはコストが抑えられると思われるため。」
 - ・ いずれ建て替えが必要であるため
「補強をしても、現在の建物自体が既に老朽化しているので、いずれは建替えないといけなくなる。そうする

と余分に費用が掛かることになると思うので。」

・老朽化が目立つため

「市役所に行くたびに、他の市役所に比べて、古くて汚い感じがあります。耐震ももちろん必要ですが外観の汚さも目立っているのでぜひ建替えを希望します。」

2. 「耐震補強」と回答した方の意見

- ・ 問1に「耐震補強」と回答した238人のうち、選択理由について98人から回答があった。
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 予算に関わる意見」、「2. 「建替え」の必要性に疑問がある」、「3. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は101件であった。

		件数	割合
1	予算に関わる意見	72	71.3%
	耐震補強のほうで費用を抑えられる	19	18.8%
	市の財政状況が大変厳しい	28	27.7%
	市民サービスの低下や市民負担の増加が懸念される	12	11.9%
	必要最小限の支出にとどめるべき	2	2.0%
	他の事業を優先すべき	11	10.9%
2	「建替え」の必要性に疑問がある	12	11.9%
	早急に耐震化が必要である	7	6.9%
	建替えが必要なほど老朽化が進んでいるとは思わない	3	3.0%
	合同庁舎化の必要性を感じない	2	2.0%
3	その他	17	16.8%
	説明が不十分である・同封資料だけでは判断できない	4	4.0%
	耐震補強を実施し、オリンピック後に建替えるべき	2	2.0%
	耐震補強を実施し、市の財政好転後に建替えるべき	3	3.0%
	現在地がよい	1	1.0%
	その他	7	6.9%
合計		101	100%

- 回答の上位は、「市の財政状況が大変厳しい」、「耐震補強のほうで費用を抑えられる」、「市民サービスの低下や市民負担の増加が懸念される」の順となっている。
- 代表的な意見
 - ・ 市の財政状況が大変厳しい
「市の財政状況を考えると、建替えは難しいのではないかと思います。」
 - ・ 耐震補強の方が費用を抑えられる
「古い建物を耐震補強することで費用の削減になると思うから。」
 - ・ 市民サービスの低下や市民負担の増加が懸念される
「建替えに多額の税金がかかるので。効率の良い税金の使い方を考えて欲しいと思います。」

3. 「分からない」と回答した方の意見

- ・ 問1に「分からない」と回答した177人のうち、選択理由について76人から回答があった。
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 予算に関わる意見」、「2. 「建替え」の必要性に疑問がある」、「3. 市の方針に関わる意見」、「4. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は83件であった。

		件数	割合
1	予算に関わる意見	42	50.6%
	財政や財源についての説明が不十分である	9	10.9%
	予算についての説明が不十分である	6	7.2%
	市の財政状況が大変厳しい	4	4.8%
	市民サービスの低下や市民負担の増加が懸念される	12	14.5%
	必要最小限の支出にとどめるべき	1	1.2%
	他の事業を優先すべき	10	12.0%
2	「建替え」の必要性に疑問がある	4	4.8%
	建替えが必要なほど老朽化が進んでいるとは思わない	1	1.2%
	合同庁舎化の必要性を感じない	2	2.4%
	他の建物を活用すればよい	1	1.2%
3	市の方針に関わる意見	9	10.9%
	市政の方針に対して疑問がある	5	6.1%
	客観的な説明を求める	4	4.8%
4	その他	28	33.7%
	同封資料だけでは判断できない	9	10.9%
	本庁舎を利用する頻度が低い・利用していない	10	12.0%
	移住してきたばかりでよく知らない	1	1.2%
	専門的なことはよくわからない・専門家の意見を聞きたい	4	4.8%
	その他	4	4.8%
合計		83	100%

- 回答の上位は、「市民サービスの低下や市民負担の増加が懸念される」、「他の事業を優先すべき」、「本庁舎を利用する頻度が低い・利用していない」の順となっている。また、アンケートに同封された資料では判断できなかったという意見もあった。
- 代表的な意見
 - ・ 市民サービスの低下や市民負担の増加が懸念される
「現在の庁舎を見ると、建替えは必要だと思います。しかし、建替えの結果、市民の負担とかがどうなるのか、将来の負担がないのかの説明をしてくれるのか解らない。八千代市の財政に見合ったものが作れるのか心配です。」
 - ・ 他の事業を優先すべき
「建替えの費用はあるのか？学校がだいぶ老朽しているので優先順位を考えながら時期を考えて欲しい。」
 - ・ 本庁舎を利用する頻度が低い・利用していない
「ほとんど本庁舎に行くことがなく、今現在どのようになっているのかわからないので…（普段は支所しか利用していません）」

2-3. 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

(1) 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

問 2. 問 1 で「建替え」と答えた方に伺います。庁舎を建替えるとした場合、どのような機能や施設が必要だと考えますか。(〇は 3 つまで)

3つまで回答可

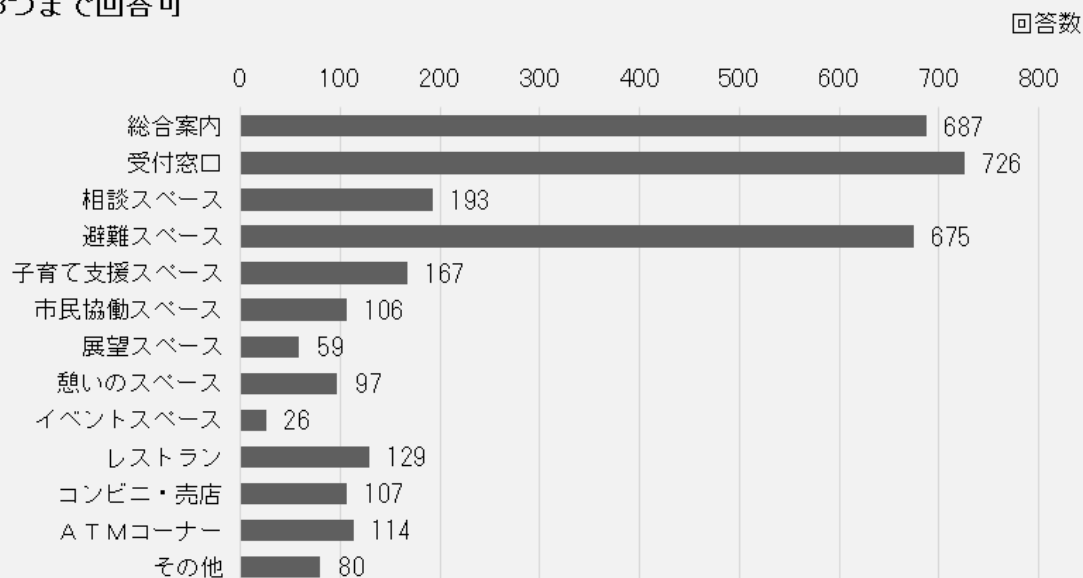


図 2-3.1 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

選択肢	集計	割合
わかりやすい総合案内（総合受付、案内人など）	687	21.5%
一度に様々な申請手続きができる受付窓口	726	22.7%
プライバシーに配慮された相談スペース	193	6.0%
災害時の避難スペース、防災備蓄倉庫	675	21.1%
子育て支援スペース（キッズスペース・授乳室・託児室など）	167	5.2%
市民の交流スペース（市民協働スペース）	106	3.3%
展望スペース	59	1.8%
市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	97	3.0%
絵画展示などができるイベントスペース	26	0.8%
レストラン	129	4.0%
コンビニ・売店	107	3.3%
ATMコーナー	114	3.6%
その他	80	2.5%
無効回答	32	1.0%
合計	3,198	100.0%

庁舎建替えにあたり必要な機能や施設については、「一度に様々な申請手続きができる受付窓口」726件（22.7%）が最も多く、次いで「わかりやすい総合案内（総合受付、案内人など）」687件（21.5%）、「災害時の避難スペース、防災備蓄倉庫」675件（21.1%）の順に多くの回答が寄せられている。庁舎の主要機能である手続き関連や災害時の対応等、市民サービスに直結する部分での要望がとりわけ多い。一方、子育て支援スペースや市民協働スペース等の付加機能を求める回答は少ない結果となった。

(2) 年齢別 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

年代に関わらず共通して、「総合案内」・「受付窓口」・「避難スペース」について約 20%の回答が寄せられ、全体の傾向とほぼ同じであった。また 30 代で「子育て支援スペース」が 15%と他の年代より高くなっている。

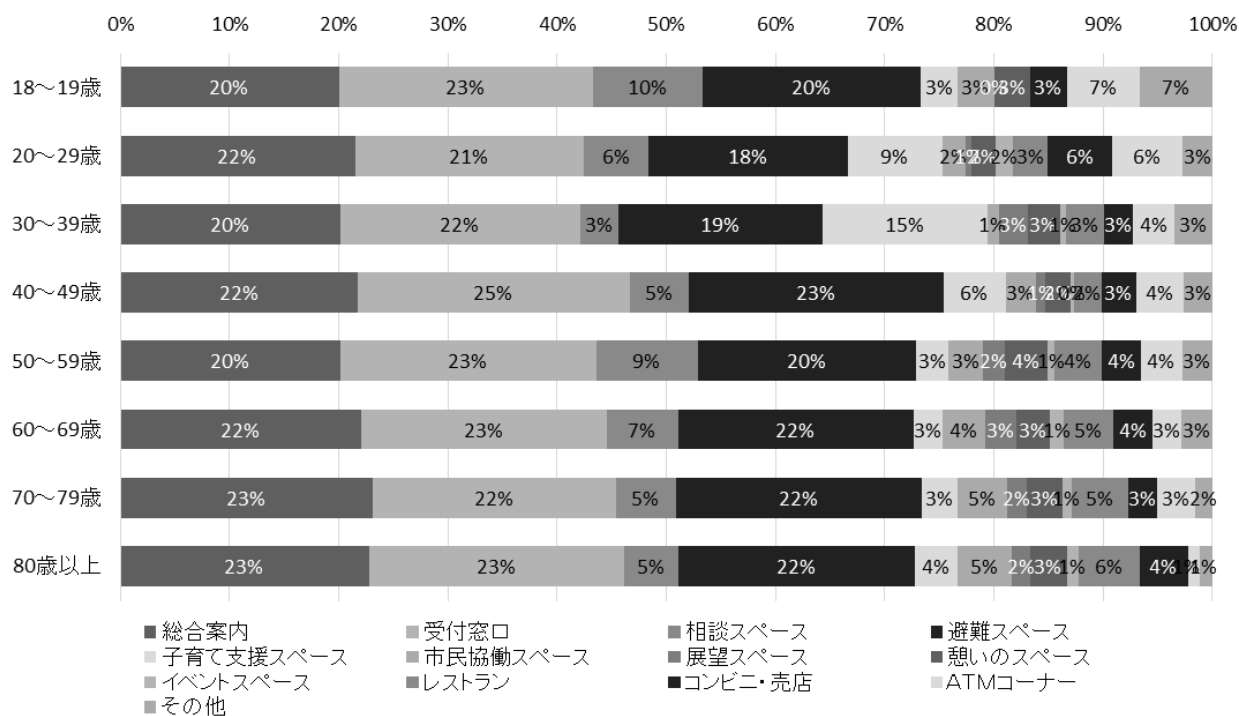


図 2-3.2 年齢別 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

選択肢	わかりやすい総合案内（総合受付、案内人など）	一度に様々な申請手続きができる受付窓口	プライバシーに配慮された相談スペース	災害時の避難スペース、防災備蓄倉庫	子育て支援スペース（キッズスペース・授乳室・託児室など）	市民の交流スペース（市民協働スペース）	展望スペース
18～19歳	6	7	3	6	1	1	0
20～29歳	40	39	11	34	16	4	1
30～39歳	75	82	13	70	56	4	10
40～49歳	124	142	31	133	32	16	5
50～59歳	102	118	47	101	15	16	10
60～69歳	141	144	42	138	17	25	18
70～79歳	156	151	37	152	22	31	12
80歳以上	41	42	9	39	7	9	3
無効回答	2	1	0	2	1	0	0
合計	687	726	193	675	167	106	59

選択肢	市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	絵画展示などができるイベントスペース	レストラン	コンビニ・売店	A T Mコーナー	その他	無効回答	合計
18～19歳	1	0	0	1	2	2	0	30
20～29歳	4	3	6	11	12	5	4	190
30～39歳	11	2	13	10	14	13	4	377
40～49歳	13	2	14	18	25	15	5	575
50～59歳	20	3	22	18	19	14	2	507
60～69歳	20	8	29	23	17	18	5	645
70～79歳	22	6	35	18	23	11	7	683
80歳以上	6	2	10	8	2	2	5	185
無効回答	0	0	0	0	0	0	0	6
合計	97	26	129	107	114	80	32	3,198

(3) 居住地別 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

居住地に関わらず共通して、「総合案内」・「受付窓口」・「避難スペース」について約 20%の回答が寄せられ、全体の傾向とほぼ同じであった。

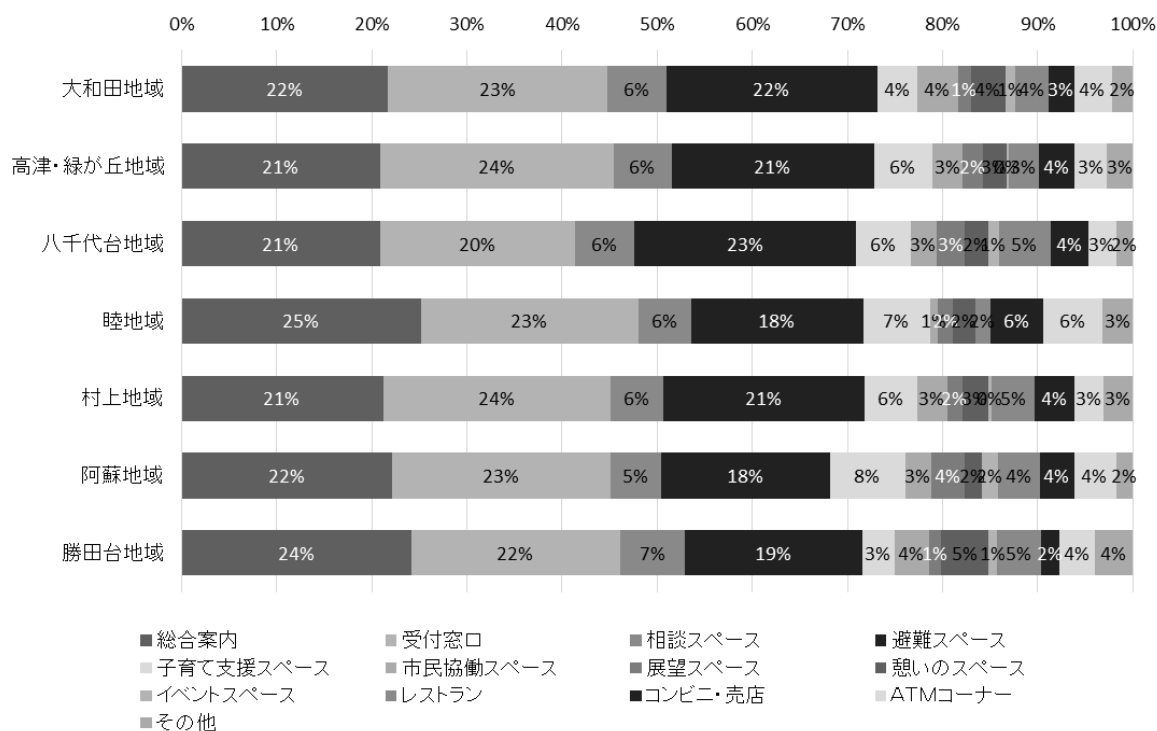


図 2-3.3 居住地別 庁舎建替えにあたり必要な機能や施設

選択肢	わかりやすい総合案内（総合受付、案内人など）	一度に様々な申請手続きができる受付窓口	プライバシーに配慮された相談スペース	災害時の避難スペース、防災備蓄倉庫	子育て支援スペース（キッズスペース・授乳室・託児室など）	市民の交流スペース（市民協働スペース）	展望スペース
大和田地域	196	209	56	200	38	39	12
高津・緑が丘地域	123	144	36	125	36	19	12
八千代台地域	121	118	36	135	33	16	17
睦地域	32	29	7	23	9	1	2
村上地域	103	116	27	103	27	15	8
阿蘇地域	25	26	6	20	9	3	4
勝田台地域	78	71	22	60	11	12	4
無効回答	9	13	3	9	4	1	0
合計	687	726	193	675	167	106	59

選択肢	市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	絵画展示などができるイベントスペース	レストラン	コンビニ・売店	A T Mコーナー	その他	無効回答	合計
大和田地域	33	9	32	24	36	20	6	910
高津・緑が丘地域	15	1	19	22	20	16	7	595
八千代台地域	14	7	31	23	17	10	4	582
睦地域	3	0	2	7	8	4	2	129
村上地域	13	2	22	20	15	15	7	493
阿蘇地域	2	2	5	4	5	2	1	114
勝田台地域	16	3	15	6	12	13	5	328
無効回答	1	2	3	1	1	0	0	47
合計	97	26	129	107	114	80	32	3,198

(4) その他を選んだ方の回答

- ・ 問2に「その他」と回答した80人のほか、他の選択肢の補足事項として自由記入欄に記載があったものと合わせた151件について意見の集計を行った。
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 機能に関わること」、「2. 利便性に関わること」、「3. 運営に関わること」、「4. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は167件であった。

		件数	割合
1	機能に関わること	61	36.5%
	トイレ	6	3.6%
	駐車場	10	6.0%
	飲食・物販	11	6.6%
	休憩室	1	0.6%
	福祉・教育・子育て等に関わるスペース	6	3.6%
	防災機能(避難スペース等)	11	6.6%
	その他市民が利用できるスペース	14	8.4%
	耐震対策の徹底	2	1.2%
2	利便性に関わること	24	14.4%
	シンプルで無駄のないデザイン	3	1.8%
	交通アクセスへの配慮	7	4.2%
	ユニバーサルデザインへの配慮	11	6.6%
	合同庁舎化	3	1.8%
3	運営に関わること	35	21.0%
	コストを抑える仕組みの導入	8	4.8%
	土日祝日対応の窓口	6	3.6%
	窓口機能の電子化	3	1.8%
	その他 運営に関わること	18	10.8%
4	その他	47	28.1%
	3つでは足りない	6	3.6%
	必要最低限の整備とすべき	16	9.6%
	その他	25	15.0%
合計		167	100%

- 建替えるとした場合に、必要な機能や設備として選択肢にないもので、「その他」欄に記入があった意見としては以下のものが挙げられる。
 - ・ 土日祝日対応の窓口や窓口機能の電子化、ユニバーサルデザインへの配慮など窓口サービスの向上を求めるもの
 - ・ 駐車場の整備やバス路線の拡大など市役所へのアクセスの改善を求める意見
- また、庁舎建設事業に対する意見として、整備コストを抑える仕組みの導入や必要最小限の整備とすべきであるとの要望があった。

2-4. 耐震補強工事の実施方法に関する意向

(1) 耐震補強工事の実施方法に関する意向

問 3. 問 1 で「耐震補強」と答えた方に伺います。耐震補強工事を行う場合、市では不具合がある設備機器の更新を同時に行うことを想定していますが、耐震補強工事をどのように実施すべきだと考えますか。

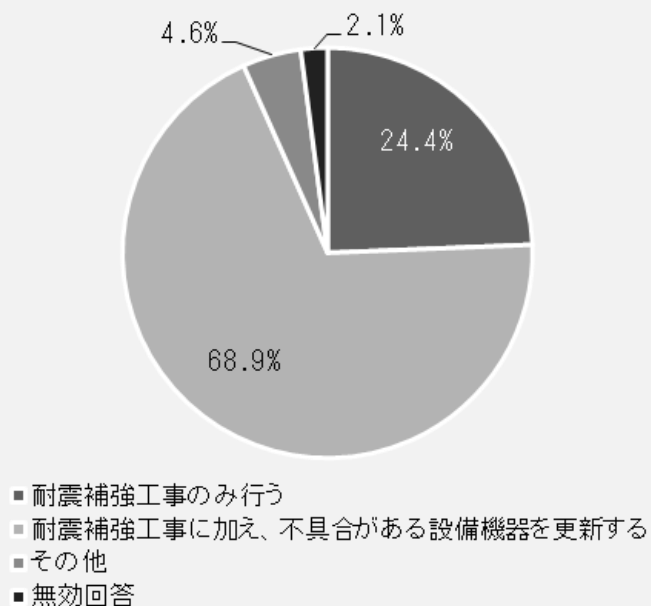


図 2-4.1 耐震補強工事の実施方法に関する意向

選択肢	集計	割合
耐震補強工事のみ行う	58	24.4%
耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する	164	68.9%
その他	11	4.6%
無効回答	5	2.1%
合計	238	100.0%

耐震補強工事の実施方法に関する意向については、問 1 で「耐震補強」と回答された方の中で「耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する」と回答した割合が 68.9%となっている。

(2) 年齢別 耐震補強工事の実施方法に関する意向

年齢別に耐震補強工事の実施方法に関する意向を見てみると、30～40代については「耐震補強工事のみ行う」と回答した割合が35%前後と平均と比べて高い傾向となっている。

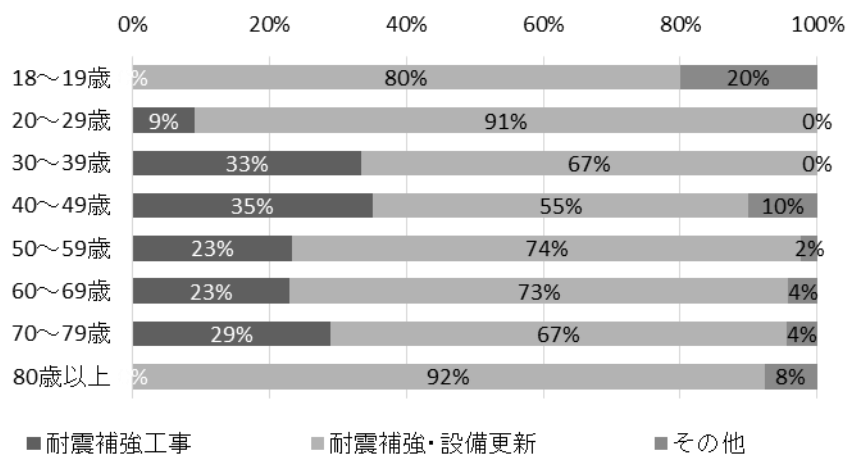


図 2-4.2 年齢別 耐震補強工事の実施方法に関する意向

選択肢	耐震補強工事のみ行う	耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する	その他	無効回答	合計
18～19歳	0	4	1	0	5
20～29歳	1	10	0	0	11
30～39歳	9	18	0	0	27
40～49歳	14	22	4	1	41
50～59歳	10	32	1	0	43
60～69歳	11	35	2	2	50
70～79歳	13	30	2	1	46
80歳以上	0	12	1	1	14
無効回答	0	1	0	0	1
合計	58	164	11	5	238

(3) 居住地別 耐震補強工事の実施方法に関する意向

居住地別に耐震補強工事の実施方法に関する意向を見てみると、居住地に関わらず概ね 7 割程度が「耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する」と回答している。

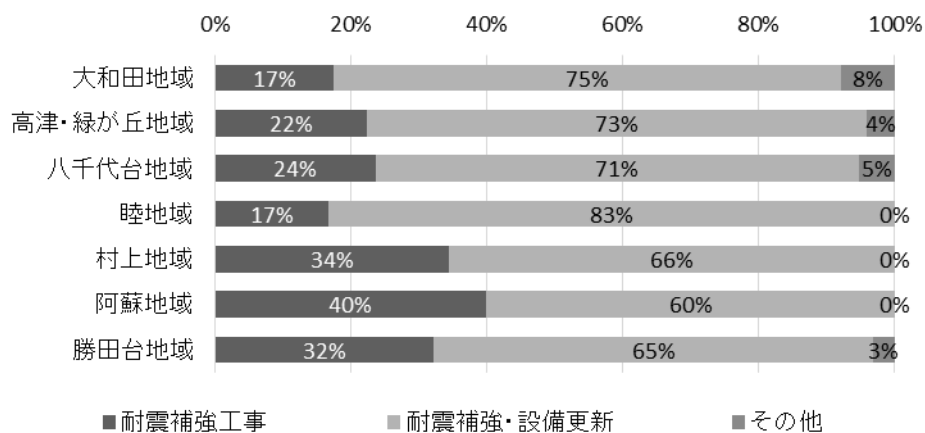


図 2-4.3 居住地別 耐震補強工事の実施方法に関する意向

選択肢	耐震補強工事のみ行う	耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する	その他	無効回答	合計
大和田地域	11	47	5	1	64
高津・緑が丘地域	11	36	2	2	51
八千代台地域	9	27	2	0	38
睦地域	1	5	0	1	7
村上地域	11	21	0	0	32
阿蘇地域	4	6	0	0	10
勝田台地域	10	20	1	1	32
無効回答	1	2	1	0	4
合計	58	164	11	5	238

(4) 「3.その他」を選んだ方の回答及び各回答に寄せられた意見

- ・ 問3の回答総数238件のうち、「その他」と回答した11人のほか、他の選択肢の補足事項として自由記入欄に記載があったものと合わせた30件について意見の集計を行った。
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 耐震補強工事のみ行う」、「2. 耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する」、「3. その他」に分類し、各項目について寄せられた意見を一覧表として整理した。

		件数	割合
1	耐震補強工事のみ行う	7	100%
	予算に関わること	1	14.3%
	他の事業を優先すべき	2	28.6%
	必要最低限の整備とすべき	3	42.9%
	説明不足により判断できない	1	14.3%

		件数	割合
2	耐震補強工事に加え、不具合がある設備機器を更新する	9	100%
	必要最低限の整備とすべき	5	55.6%
	安全性の確保	3	33.3%
	その他	1	11.1%

		件数	割合
3	その他	14	100%
	予算に関わること	2	14.3%
	他の事業を優先すべき	2	14.3%
	耐震補強でなく建替えが必要	1	7.1%
	説明不足により判断できない	3	21.4%
	よくわからない	3	21.4%
	その他	3	21.4%

2-5. 庁舎整備において重要な視点

(1) 庁舎整備において重要な視点

問 4. 庁舎整備を行う上で、どのような視点が重要だと考えますか？（○は2つまで）

2つまで回答可

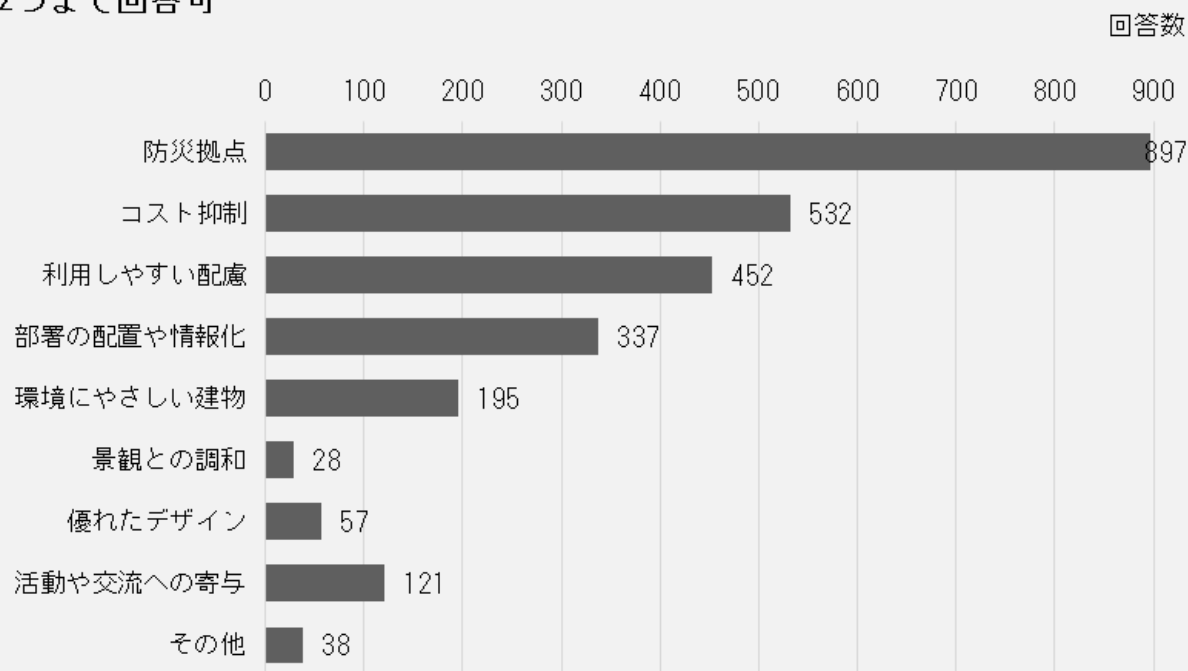


図 2-5.1 庁舎整備において重要な視点

選択肢	集計	割合
災害時に市民の救援を確実にできる防災拠点であること	897	31.0%
施設整備・維持管理のコストを抑制すること	532	18.4%
すべての人が利用しやすいように配慮されていること	452	15.6%
市民サービス向上に結びつく部署の配置や情報化が図られていること	337	11.6%
省エネルギーなど地球環境にやさしい建物であること	195	6.7%
周辺の街並みや景観と調和していること	28	1.0%
まちのシンボルとなるような優れたデザインであること	57	2.0%
市民が気軽に立ち寄れ、多様な活動や交流に寄与すること	121	4.2%
その他	38	1.3%
無効回答	236	8.2%
合計	2,893	100.0%

庁舎整備について重要と考える視点については、「防災拠点」としての役割を求める回答が 897 件と最も多く、全体の 31%を占める結果となった。次いで「コスト抑制」について 532 件（18.4%）、「利用しやすい配慮」452 件（15.6%）の順に多い回答となっている。

(2) 年齢別 庁舎整備において重要な視点

年齢別に庁舎整備において重要と考える視点をみると、「防災拠点」についてはすべての年代で 30%以上の回答が得られており、年代があがるほど割合が高くなっている。また、10代～40代では「利用しやすい配慮」を回答する割合が平均よりやや高くなっている。

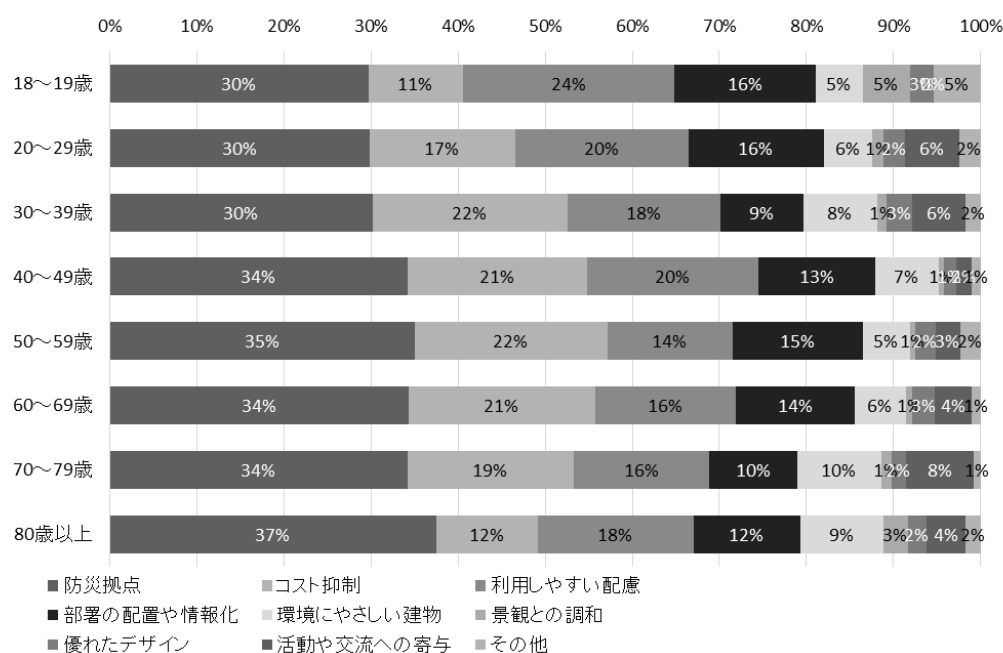


図 2-5.2 年齢別 庁舎整備において重要な視点

選択肢	災害時に市民の救援を確実に 行える防災拠点であること	施設整備・維持管理のコストを 抑制すること	すべての人が利用しやすいよう に配慮されていること	市民サービス向上に結びつく部 署の配置や情報化が図られて いること	省エネルギーなど地球環境にや さしい建物であること
18～19歳	11	4	9	6	2
20～29歳	48	27	32	25	9
30～39歳	89	66	52	28	25
40～49歳	170	103	98	67	36
50～59歳	155	98	64	66	24
60～69歳	176	110	83	70	30
70～79歳	180	101	82	53	51
80歳以上	67	21	32	22	17
無効回答	1	2	0	0	1
合計	897	532	452	337	195

選択肢	周辺の街並みや景観と調和していること	まちのシンボルとなるような優 れたデザインであること	市民が気軽に立ち寄れ、多様な 活動や交流に寄与すること	その他	無効回答	合計
18～19歳	2	1	0	2	0	37
20～29歳	2	4	10	4	13	174
30～39歳	3	9	18	5	33	328
40～49歳	3	7	9	5	36	534
50～59歳	3	10	13	10	25	468
60～69歳	4	13	22	5	44	557
70～79歳	6	9	41	4	70	597
80歳以上	5	4	8	3	10	189
無効回答	0	0	0	0	5	9
合計	28	57	121	38	236	2,893

(3) 家族構成別 庁舎整備において重要な視点

家族構成別に庁舎整備において重要と考える視点を見てみると、「防災拠点」については家族構成に関わらず30%以上の回答が得られている。一方、「単身」・「夫婦と子ども」・「夫婦と子どもと親」世帯では「利用しやすい配慮」が、「夫婦のみ」・「夫婦と子ども」・「夫婦と親」世帯では「コスト抑制」が、それぞれ平均よりもやや高い傾向となっている。

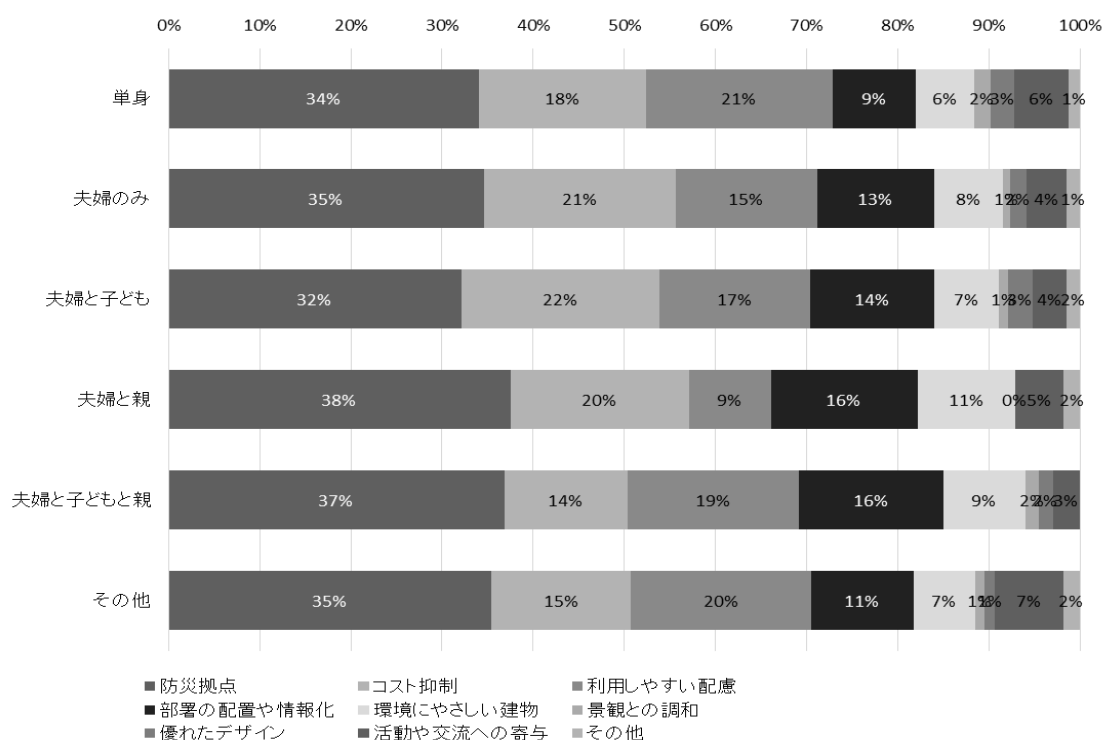


図 2-5.3 家族構成別 庁舎整備において重要な視点

選択肢	災害時に市民の救援を確実に 行える防災拠点であること	施設整備・維持管理の コストを抑制すること	すべての人が利用しやすいよう に配慮されていること	市民サービス向上に結び付く部 署の配置や情報化が図られて いること	省エネルギーなど地球環境に やさしい建物であること
単身	108	58	65	29	20
夫婦のみ	258	157	115	96	56
夫婦と子ども	361	244	186	152	80
夫婦と親	21	11	5	9	6
夫婦と子どもと親	49	18	25	21	12
その他	95	41	53	30	18
無効回答	5	3	3	0	3
合計	897	532	452	337	195

選択肢	周辺の街並みや景観と調和していること	まちのシンボルとなるような優れたデザインであること	市民が気軽に立ち寄り、多様な活動や交流に寄与すること	その他	無効回答	合計
単身	6	8	19	4	38	355
夫婦のみ	6	13	33	11	77	822
夫婦と子ども	11	30	42	17	85	1,208
夫婦と親	0	0	3	1	4	60
夫婦と子どもと親	2	2	4	0	12	145
その他	3	3	20	5	14	282
無効回答	0	1	0	0	6	21
合計	28	57	121	38	236	2,893

(4) 職業別 庁舎整備において重要な視点

職業別に庁舎整備において重要と考える視点を見てみると、「防災拠点」への回答率が、「農業」・「自営業・自由業」・「公務員」・「アルバイト」・「専業主婦（夫）」・「無職」は、平均よりも高い割合となっている。また、「専門職」では「コスト抑制」27%、「利用しやすい配慮」23%と、いずれも平均よりやや高い割合となっている。

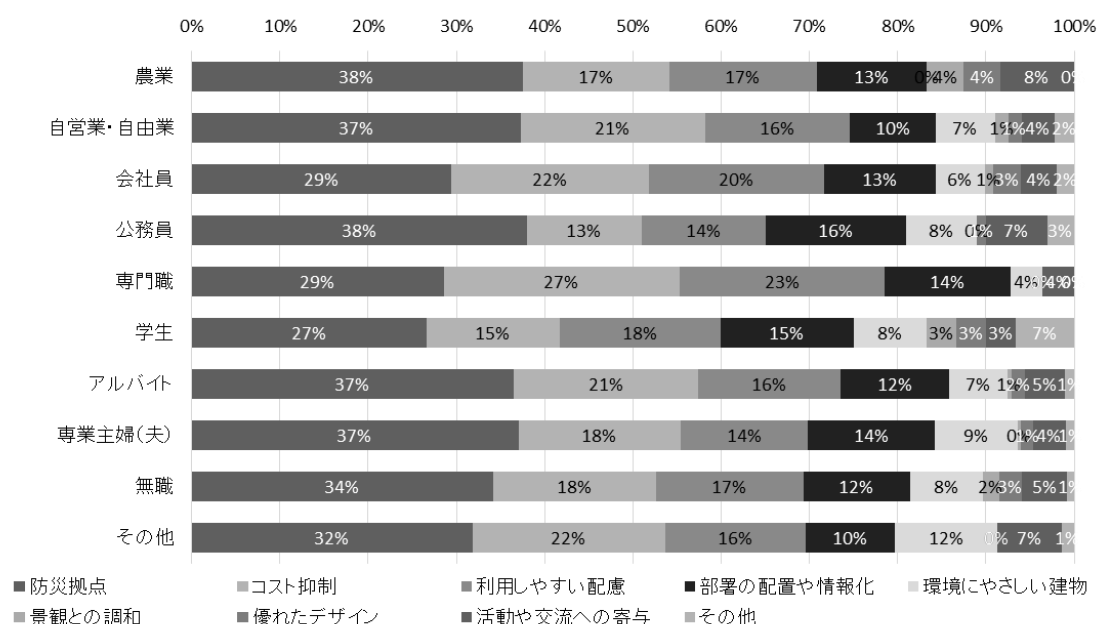


図 2-5.4 職業別 庁舎整備において重要な視点

選択肢	災害時に市民の救援を確実に 行える防災拠点であること	施設整備・維持 管理のコストを 抑制すること	すべての人が利 用しやすいよう に配慮されていること	市民サービス向 上に結び付く部 署の配置や情報 化が図られていること	省エネルギーな ど地球環境にや さしい建物であること
農業	9	4	4	3	0
自営業・自由	50	28	22	13	9
会社員	206	157	139	88	39
公務員	38	13	14	16	8
専門職	16	15	13	8	2
学生	16	9	11	9	5
アルバイト	145	83	64	49	26
専業主婦	167	83	65	65	42
無職	221	119	108	78	53
その他	22	15	11	7	8
無効回答	7	6	1	1	3
合計	897	532	452	337	195

選択肢	周辺の街並みや 景観と調和して いること	まちのシンボル となるような優 れたデザインで あること	市民が気軽に立 ち寄り、多様な 活動や交流に寄 与すること	その他	無効回答	合計
農業	1	1	2	0	1	25
自営業・自由	2	2	5	3	8	142
会社員	7	22	28	14	54	754
公務員	0	1	7	3	12	112
専門職	0	0	2	0	7	63
学生	2	2	2	4	1	61
アルバイト	2	6	18	4	39	436
専業主婦	2	6	17	4	47	498
無職	12	17	33	5	56	702
その他	0	0	5	1	5	74
無効回答	0	0	2	0	6	26
合計	28	57	121	38	236	2,893

(5) 居住期間別 庁舎整備において重要な視点

居住期間別に庁舎整備において重要と考える視点を見てみると、全体の傾向とほぼ同じであった。

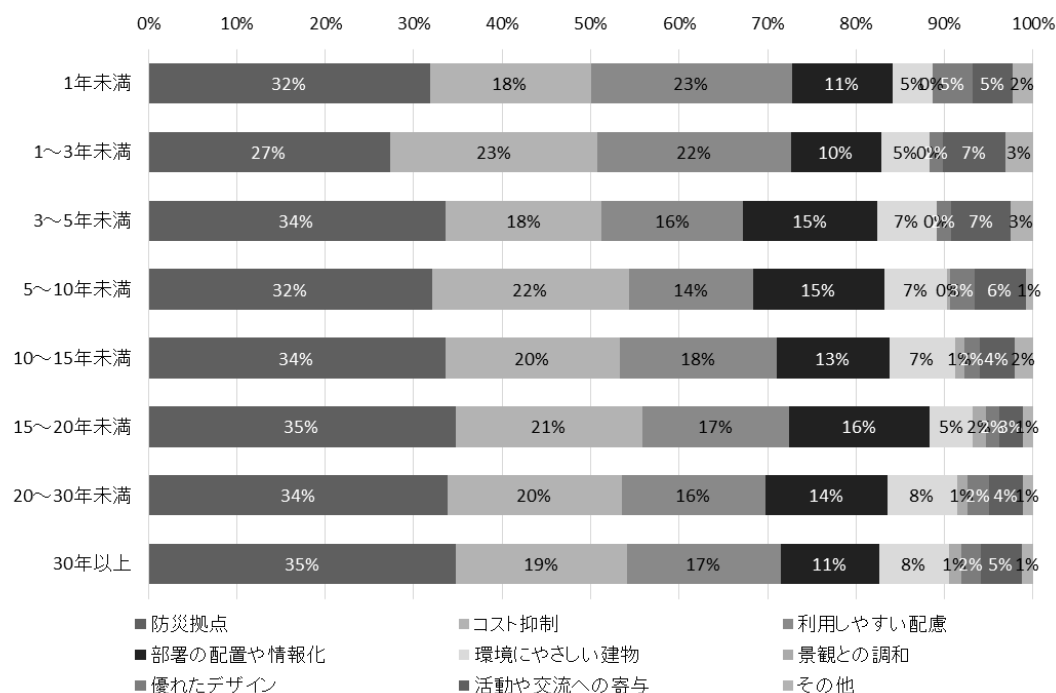


図 2-5.5 居住期間別 庁舎整備において重要な視点

選択肢	災害時に市民の救援を確実に 行える防災拠点であること	施設整備・維持 管理のコストを抑制すること	すべての人が利用しやすいように 配慮されていること	市民サービス向上に結び付く部 署の配置や情報化が図られていること	省エネルギーなど地球環境にやさしい建物であること
1年未満	14	8	10	5	2
1～3年未満	35	30	28	13	7
3～5年未満	40	21	19	18	8
5～10年未満	82	57	36	38	18
10～15年未満	95	56	50	36	21
15～20年未満	92	56	44	42	13
20～30年未満	150	87	72	61	35
30年以上	386	215	192	124	88
無効回答	3	2	1	0	3
合計	897	532	452	337	195

選択肢	周辺の街並みや 景観と調和していること	まちのシンボル となるような優れた デザインであること	市民が気軽に立ち 寄れ、多様な活動や交流に寄 与すること	その他	無効回答	合計
1年未満	0	2	2	1	5	49
1～3年未満	0	2	9	4	12	140
3～5年未満	0	2	8	3	3	122
5～10年未満	1	7	15	2	15	271
10～15年未満	3	5	11	6	17	300
15～20年未満	4	4	7	3	19	284
20～30年未満	5	11	17	5	48	491
30年以上	15	24	52	14	112	1,222
無効回答	0	0	0	0	5	14
合計	28	57	121	38	236	2,893

(6) 居住地別 庁舎整備において重要な視点

居住期間別に庁舎整備において重要と考える視点を見てみると、「睦地域」では「利用しやすい配慮」への回答が24%と平均より高くなっている。

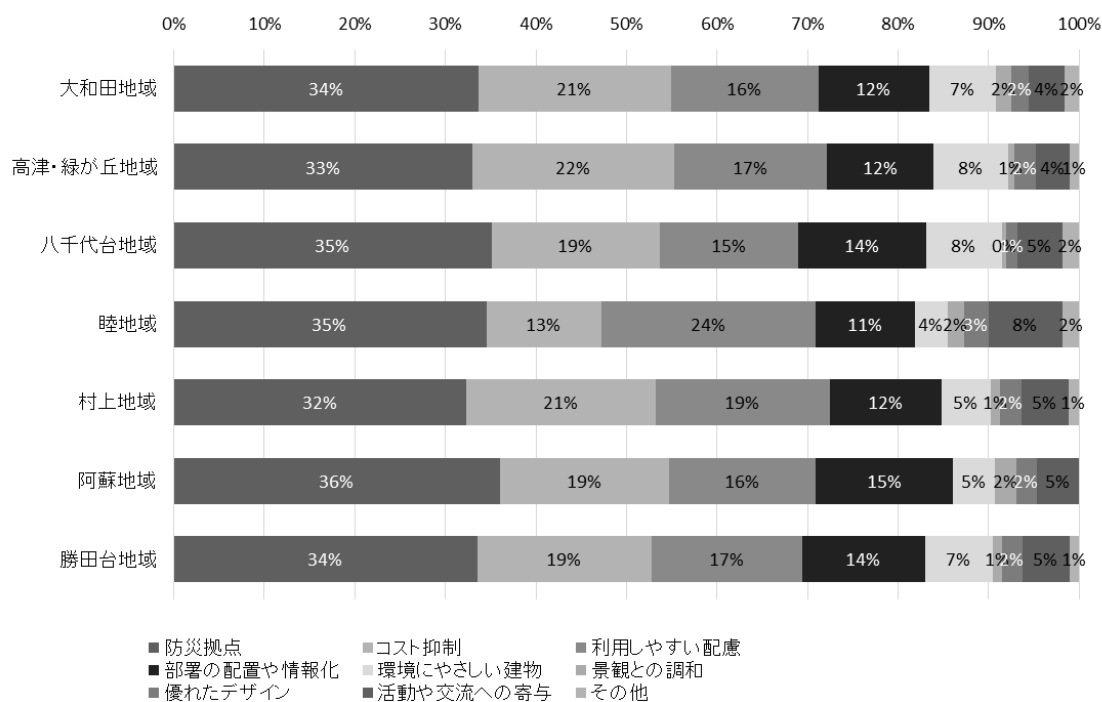


図 2-5.6 居住地別 庁舎整備において重要な視点

選択肢	災害時に市民の救援を確実に 行える防災拠点であること	施設整備・維持 管理のコストを 抑制すること	すべての人が利用 しやすいように 配慮されていること	市民サービス向 上に結びつく部 署の配置や情報 化が図られていること	省エネルギーな ど地球環境にや さしい建物であること
大和田地域	254	160	123	92	56
高津・緑が丘 地域	160	108	82	57	40
八千代台地域	170	90	74	68	41
睦地域	38	14	26	12	4
村上地域	136	88	81	52	23
阿蘇地域	31	16	14	13	4
勝田台地域	91	52	45	37	20
無効回答	17	4	7	6	7
合計	897	532	452	337	195

選択肢	周辺の街並みや 景観と調和して いること	まちのシンボル となるような優 れたデザインで あること	市民が気軽に立 ち寄れ、多様な 活動や交流に寄 与すること	その他	無効回答	合計
大和田地域	12	15	30	12	53	807
高津・緑が丘 地域	3	12	18	5	58	543
八千代台地域	2	6	24	9	37	521
睦地域	2	3	9	2	6	116
村上地域	4	10	22	5	30	451
阿蘇地域	2	2	4	0	12	98
勝田台地域	3	6	14	3	37	308
無効回答	0	3	0	2	3	49
合計	28	57	121	38	236	2, 893

(7) その他を選んだ方の回答

- ・ 問4の回答総数 2,893 件のうち、「その他」と回答した 38 件と、他の選択肢の補足説明として記載があった意見と合わせた 80 件について集計した。(複数回答可)
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 予算に関わる意見」、「2. 機能に関わる要望」、「3. 本事業に対する提案・要望」、「4. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は 83 件であった。

		件数	割合
1	予算に関わる意見	17	20.5%
	必要最小限の支出にとどめるべき	12	14.5%
	市の財政状況に配慮すべき	3	3.6%
	人件費の削減に努めるべき	2	2.4%
2	機能に関わる要望	36	43.4%
	シンプルなデザイン	11	13.3%
	防災機能の充実	6	7.2%
	使いやすさ・働きやすさへの配慮	4	4.8%
	ユニバーサルデザイン、バリアフリー(優先駐車場、多機能トイレなど)	4	4.8%
	セキュリティの確保	3	3.6%
	駐車場の整備	3	3.6%
	機能の集約(合同庁舎化)	3	3.6%
	その他機能	2	2.4%
3	本事業に対する提案・要望	10	12.0%
	庁舎の場所・交通アクセスへの配慮を行うべき	7	8.4%
	支所を含めた検討をすべき	2	2.4%
	長期的な視点で必要な整備を行うべき	1	1.2%
4	その他	20	24.1%
	重要だと考える点が2つ以上ある	6	7.2%
	他の事業を優先すべき	6	7.2%
	役所の運営に関わる意見	3	3.6%
	「建替え」の必要性に疑問を感じる	2	2.4%
	その他	3	3.6%
合計		83	100%

- 回答の上位は、「必要最小限の支出にとどめるべき」、「シンプルなデザイン」、「庁舎の場所・交通アクセスへの配慮を行うべき」の順となっている。

2-6. 本庁舎を訪れる頻度

(1) 本庁舎を訪れる頻度

問 5 概ね 5 年の間に、どのくらいの頻度で本庁舎を訪れましたか。

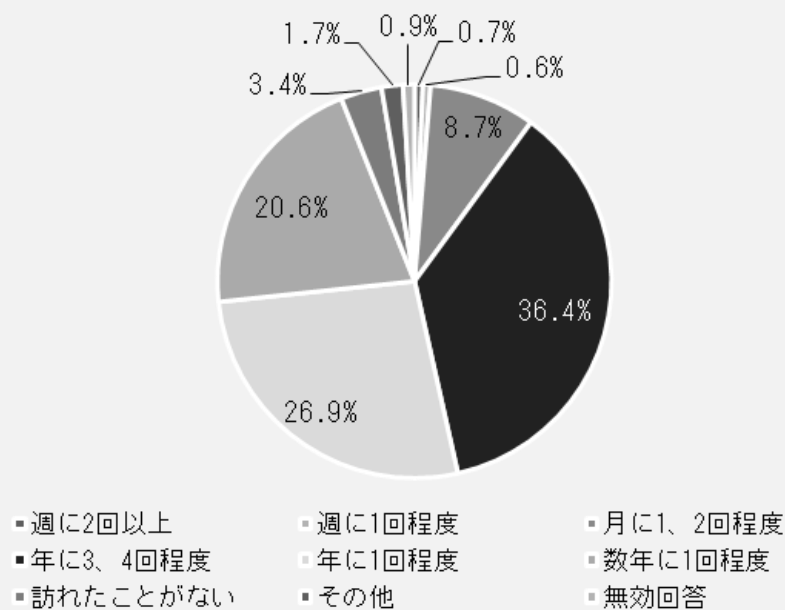


図 2-6.1 本庁舎を訪れる頻度

選択肢	集計	割合
週に2回以上	11	0.7%
週に1回程度	10	0.6%
月に1、2回程度	140	8.7%
年に3、4回程度	583	36.4%
年に1回程度	430	26.9%
数年に1回程度	330	20.6%
訪れたことがない	54	3.4%
その他	28	1.7%
無効回答	15	0.9%
合計	1,601	100.0%

本庁舎を訪れる頻度については、「年に 3、4 回程度」583 件（36.4%）が最も多く、次いで「年に 1 回程度」430 件（26.9%）、「数年に 1 回程度」330 件（20.6%）の順に多い結果となっている。

(2) 年齢別 本庁舎を訪れる頻度

年齢別に本庁舎を訪れる頻度を見てみると、年齢層が高くなるのに比例して訪問頻度も高くなる傾向となっている。

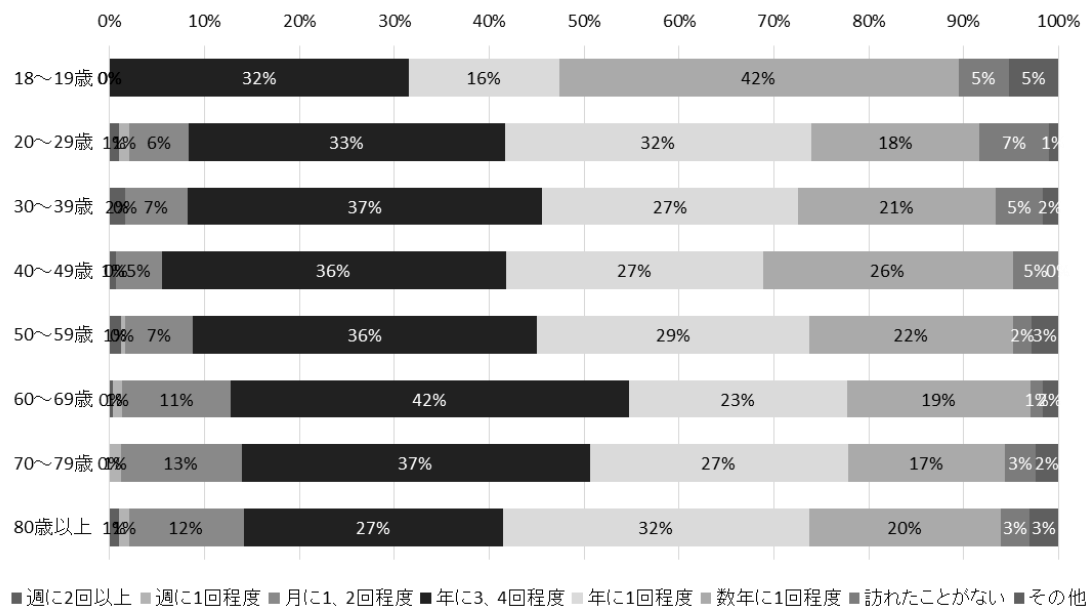


図 2-6.2 年齢別 本庁舎を訪れる頻度

選択肢	週に2回以上	週に1回程度	月に1, 2回程度	年に3, 4回程度	年に1回程度	数年に1回程度	訪れたことがない	その他	無効回答	総計
18～19歳	0	0	0	6	3	8	1	1	0	19
20～29歳	1	1	6	32	31	17	7	1	0	96
30～39歳	3	0	12	68	49	38	9	3	2	184
40～49歳	2	0	14	106	79	77	14	0	0	292
50～59歳	3	1	18	91	72	54	5	7	1	252
60～69歳	1	3	35	128	70	59	4	5	4	309
70～79歳	0	4	43	124	92	56	11	8	2	340
80歳以上	1	1	12	27	32	20	3	3	3	102
無効回答	0	0	0	1	2	1	0	0	3	7
合計	11	10	140	583	430	330	54	28	15	1,601

(3) 居住地別 本庁舎を訪れる頻度

居住地別に本庁舎を訪れる頻度を見てみると、現庁舎の所在地である「大和田地域」では、他地域と比べて本庁舎を訪れる機会が多くなっている。

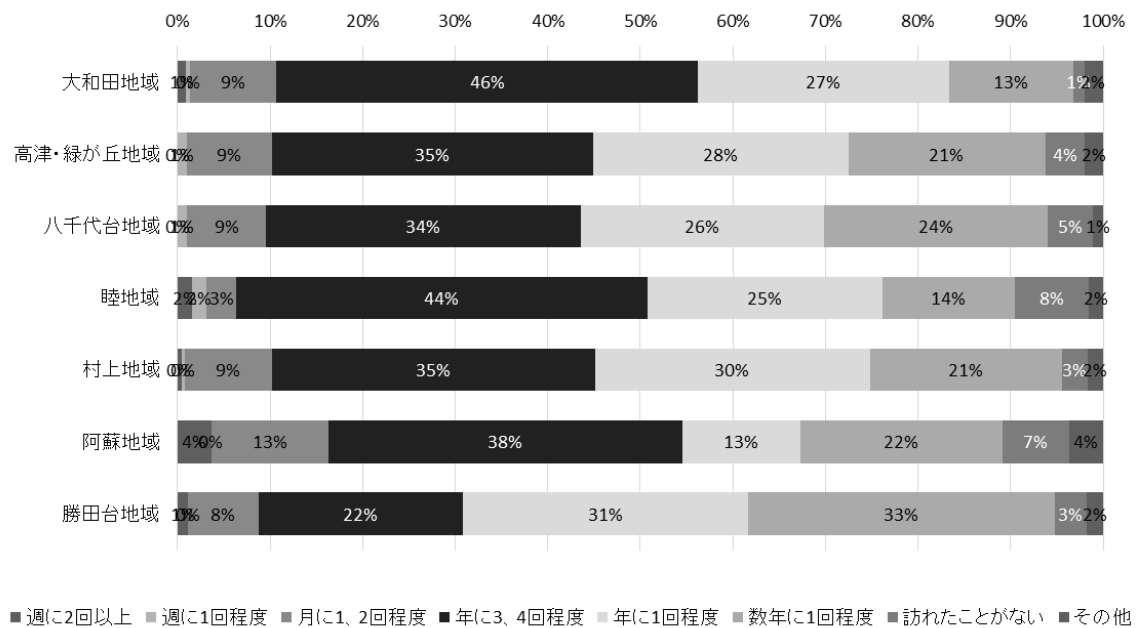


図 2-6.3 居住地別 本庁舎を訪れる頻度

選択肢	週に2回以上	週に1回程度	月に1、2回程度	年に3、4回程度	年に1回程度	数年に1回程度	訪れたことがない	その他	無効回答	総計
大和田地域	4	2	41	200	119	59	5	9	2	441
高津・緑が丘地域	0	3	28	106	84	65	13	6	1	306
八千代台地	0	3	24	96	74	68	14	3	2	284
睦地域	1	1	2	28	16	9	5	1	1	64
村上地域	1	1	23	86	73	51	7	4	1	247
阿蘇地域	2	0	7	21	7	12	4	2	1	56
勝田台地域	2	0	13	38	53	57	6	3	3	175
無効回答	1	0	2	8	4	9	0	0	4	28
合計	11	10	140	583	430	330	54	28	15	1,601

2-7. 本庁舎を訪れる際の交通手段

(1) 本庁舎を訪れる際の交通手段

問 6. 主にどのような交通手段で本庁舎を訪れましたか。

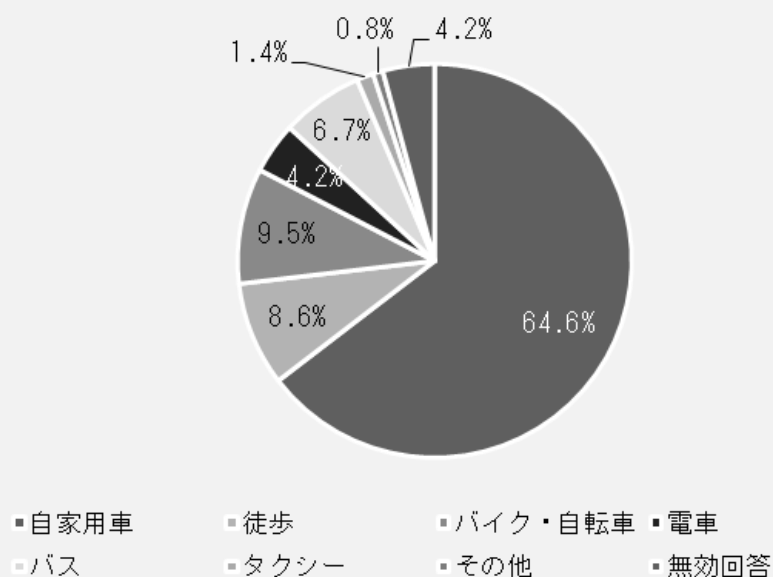


図 2-7.1 本庁舎を訪れる際の交通手段

選択肢	集計	割合
自家用車	1,034	64.6%
徒歩	137	8.6%
バイク・自転車	152	9.5%
電車	67	4.2%
バス	108	6.7%
タクシー	22	1.4%
その他	13	0.8%
無効回答	68	4.2%
合計	1,601	100.0%

本庁舎を訪れる際の交通手段については、「自家用車」が 1034 件（64.6%）と最も多く、次いで「バイク・自転車」152 件（9.5%）、「徒歩」137 件（8.6%）となっており、主要な交通手段は「自家用車」となっている。一方、現庁舎の所在地と公共交通機関との関係は、最寄りの八千代中央駅から徒歩 12 分程度、路線バス「市役所前」停留所から徒歩 1 分となっているが、来庁時に公共交通機関を利用すると回答した割合は、合わせて 10% 程度にとどまる結果となった。

(2) 年齢別 本庁舎を訪れる際の交通手段

年齢別に本庁舎を訪れる際の交通手段を見てみると、30～60代では「自家用車」と回答した割合がいずれも70%以上となっている。一方10代では「バイク・自転車」の割合が32%で、バイクや自転車の割合が高くなっている。また、80歳以上では「バス」が23%と、公共交通機関を利用する割合が高い結果となっている。

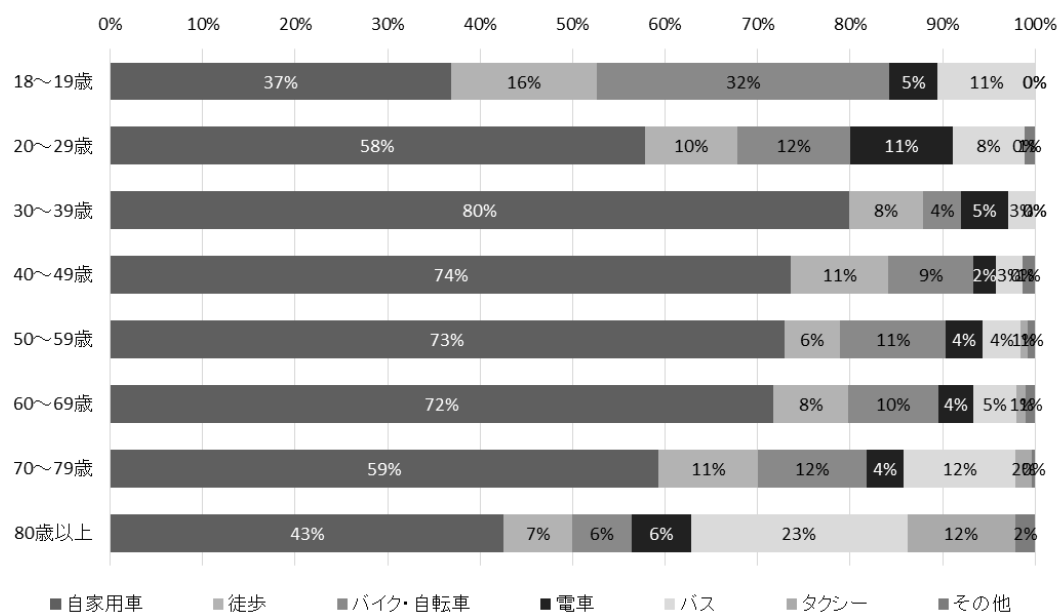


図 2-7.2 年齢別 本庁舎を訪れる際の交通手段

選択肢	自家用車	徒歩	バイク・自転車	電車	バス	タクシー	その他	無効回答	総計
18～19歳	7	3	6	1	2	0	0	0	19
20～29歳	52	9	11	10	7	0	1	6	96
30～39歳	139	14	7	9	5	0	0	10	184
40～49歳	209	30	26	7	8	0	4	8	292
50～59歳	180	15	28	10	10	2	2	5	252
60～69歳	213	24	29	11	14	3	3	12	309
70～79歳	192	35	38	13	39	6	1	16	340
80歳以上	40	7	6	6	22	11	2	8	102
無効回答	2	0	1	0	1	0	0	3	7
合計	1,034	137	152	67	108	22	13	68	1,601

(3) 居住地別 本庁舎を訪れる際の交通手段

居住地別に本庁舎を訪れる際の交通手段を見てみると、本庁舎に近い「大和田地域」では「徒歩」と回答した割合が他地域よりも高くなっている。一方、「自家用車」と回答した割合は、本庁舎から離れた地域で高い傾向となっている。また「電車」と回答した割合が、「高津・緑が丘地域」・「睦地域」・「村上地域」で 5%前後、「勝田台地域」で 18%ある他「バス」についても「八千代台地域」で 25%、「阿蘇地域」で 23%の回答があることから、居住地により公共交通機関の利用も一定数あることが読み取れる。

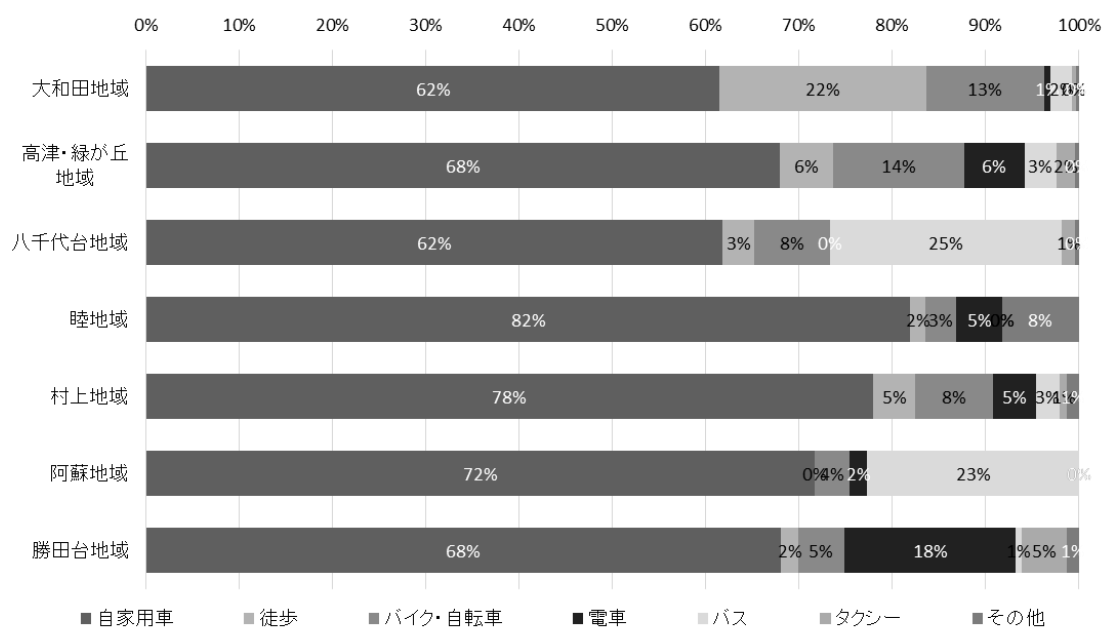


図 2-7.3 居住地別 本庁舎を訪れる際の交通手段

選択肢	自家用車	徒歩	バイク・自転車	電車	バス	タクシー	その他	無効回答	総計
大和田地域	264	95	54	3	10	2	1	12	441
高津・緑が丘地域	199	17	41	19	10	6	1	13	306
八千代台地域	167	9	22	0	67	4	1	14	284
睦地域	50	1	2	3	0	0	5	3	64
村上地域	187	11	20	11	6	2	3	7	247
阿蘇地域	38	0	2	1	12	0	0	3	56
勝田台地域	111	3	8	30	1	8	2	12	175
無効回答	18	1	3	0	2	0	0	4	28
合計	1,034	137	152	67	108	22	13	68	1,601

2-8. 本庁舎を訪れた用件

(1) 本庁舎を訪れた用件

問 7. 主にどのような用件で本庁舎を訪れましたか。(該当するものすべてに○をつけて下さい。)

複数回答可

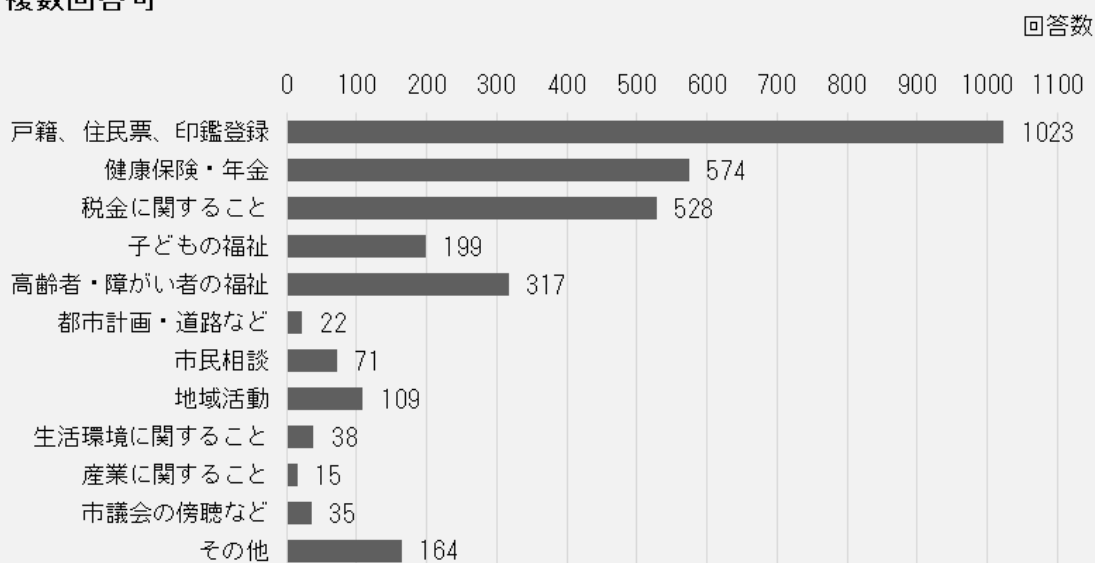


図 2-8.1 本庁舎を訪れた用件

選択肢	集計	割合
戸籍、住民票、印鑑登録に関すること	1,023	32.4%
国民健康保険・国民年金に関すること	574	18.2%
税証明の発行など、税金（市民税、固定資産税など）に関すること	528	16.7%
保育園の入園や児童手当など、子どもの福祉に関すること	199	6.3%
高齢の人や障がいのある人の福祉に関すること	317	10.0%
建築確認申請や都市計画、道路などに関すること	22	0.7%
市民相談に関すること	71	2.2%
自治会や地域の活動に関すること	109	3.5%
ごみや騒音など生活環境に関すること	38	1.2%
農業や商工業、観光など産業に関すること	15	0.5%
市議会や各審議会などへの参加、傍聴に関すること	35	1.1%
その他	164	5.2%
無効回答	64	2.0%
合計	3,159	100.0%

本庁舎を訪れた用件については、「戸籍・住民票・印鑑登録」が 1023 件（32.4%）と最も多く、次いで「健康保険・年金」574 件（18.2%）、「税金に関すること」528 件（16.7%）の順に多い結果となっている。

(2) 年齢別 本庁舎を訪れた用件

年齢別に本庁舎を訪れた用件を見てみると、10代では「戸籍・住民票・印鑑登録」・「税証明の発行など税金に関すること」合わせて 91%と、ほとんどが事務手続きで来庁している。一方で年齢層が高くなるにしたがって「健康保険・年金」に関する相談や「地域活動」・「市議会や各種審議会などへの参加・傍聴に関すること」での来庁の機会が多い結果となっている。また、20～40代では「子どもの福祉」、50～80代以上では「高齢者・障がい者の福祉」と回答する割合がそれぞれ平均より高くなっている。

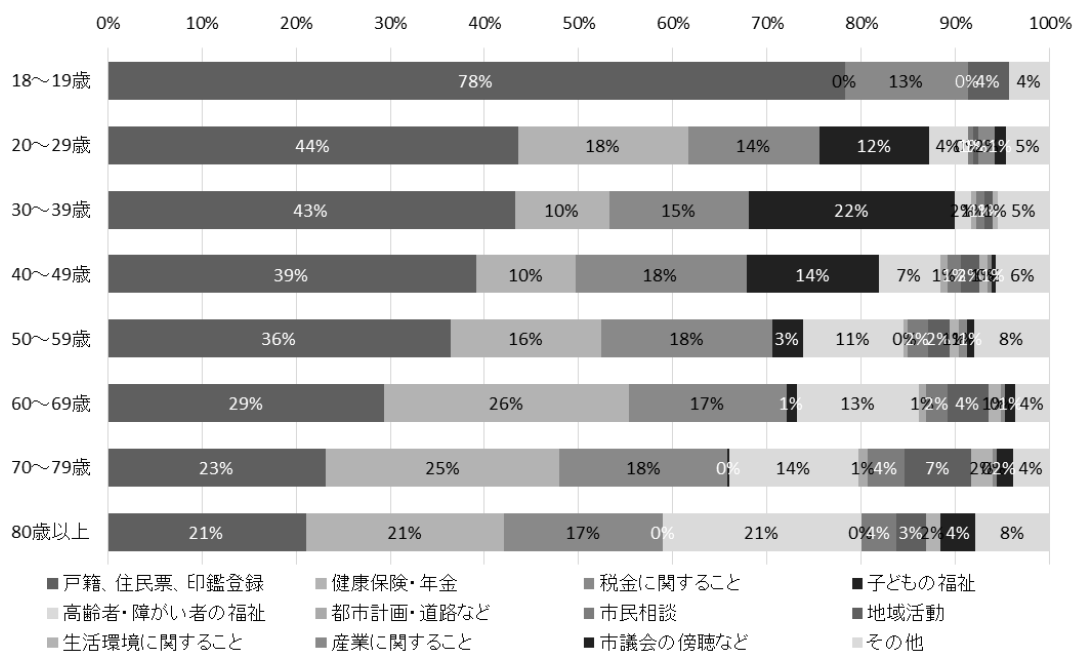


図 2-8.2 年齢別 本庁舎を訪れた用件

選択肢	戸籍、住民票、印鑑登録に関すること	国民健康保険・国民年金に関すること	税証明の発行など、税金（市民税、固定資産税など）に関すること	保育園の入園や児童手当など、子どもの福祉に関すること	高齢の人や障がいのある人の福祉に関すること	建築確認申請や都市計画、道路などに関すること	市民相談に関すること	自治会や地域活動に関すること	ごみや騒音など生活環境に関すること	農業や商工業、観光など産業に関すること	市議会や各審議会などへの参加、傍聴に関すること	その他	無効回答	総計
18～19歳	18	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	23
20～29歳	75	31	24	20	7	0	1	1	0	3	2	8	5	177
30～39歳	150	35	51	76	6	2	3	3	2	0	0	19	8	355
40～49歳	220	59	102	79	37	4	8	11	5	2	3	32	9	571
50～59歳	178	78	89	16	52	2	11	11	5	4	4	39	3	492
60～69歳	186	164	106	7	82	5	14	28	8	3	7	23	8	641
70～79歳	156	167	120	1	92	7	26	48	15	3	12	26	20	693
80歳以上	40	40	32	0	40	0	7	6	3	0	7	15	8	198
無効回答	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	1	3	9
合計	1,023	574	528	199	317	22	71	109	38	15	35	164	64	3,159

(3) 居住地別 本庁舎を訪れた用件

居住地別に本庁舎を訪れた用件を見てみると、「大和田地域」では「戸籍・住民票・印鑑登録」が40%を占めているのに対し、他の地域では30%程度の割合となっている。一方、「八千代台地域」や「睦地域」、「阿蘇地域」では「高齢者・障がい者の福祉」に関する割合が13~14%と、他地域と比較して高くなっている。

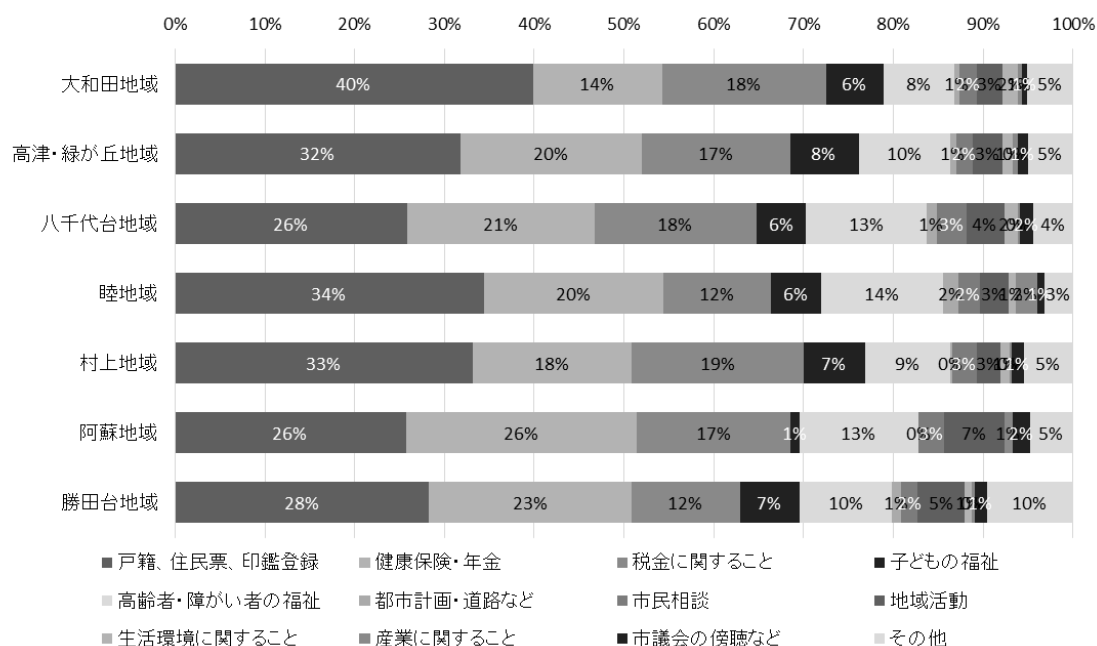


図 2-8.3 居住地別 本庁舎を訪れた用件

選択肢	戸籍、住民票、印鑑登録に関すること	国民健康保険・国民年金に関すること	税証明の発行など、税金（市民税、固定資産税など）に関すること	保育園の入園や児童手当など、子どもの福祉に関すること	高齢の人や障がいのある人の福祉に関すること	建築確認申請や都市計画、道路などに関すること	市民相談に関すること	自治会や地域活動に関すること	ごみや騒音など生活環境に関すること	農業や商工業、観光など産業に関すること	市議会や各審議会などへの参加、傍聴に関すること	その他	無効回答	総計
大和田地域	361	131	165	58	71	6	17	26	15	5	5	46	10	916
高津・緑が丘地域	196	124	102	47	63	4	11	21	7	3	7	31	7	623
八千代台地域	135	109	94	29	70	6	17	22	8	1	8	23	18	540
睦地域	43	25	15	7	17	2	3	4	1	3	1	4	5	130
村上地域	165	88	95	34	47	1	14	13	5	1	7	27	7	504
阿蘇地域	27	27	18	1	14	0	3	7	0	1	2	5	5	110
勝田台地域	80	64	34	19	29	3	5	15	2	1	4	27	8	291
無効回答	16	6	5	4	6	0	1	1	0	0	1	1	4	45
合計	1,023	574	528	199	317	22	71	109	38	15	35	164	64	3,159

2-9. 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

(1) 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

問 8. 本庁舎を訪れて、主にどのようなことを不便に感じましたか。（該当するものすべてに○をつけて下さい。）

複数回答可

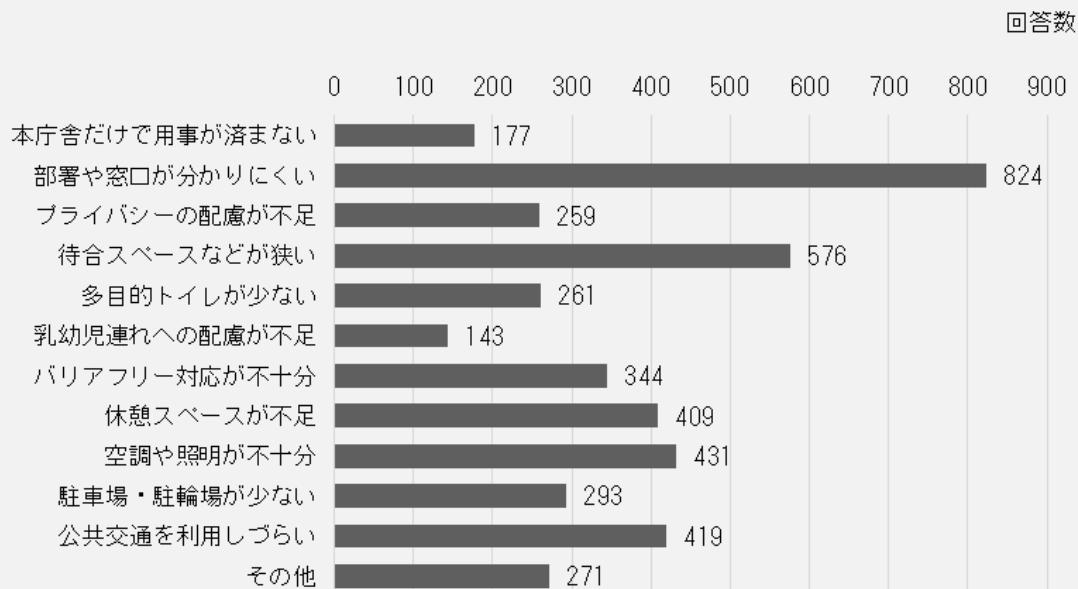


図 2-9.1 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

選択肢	集計	割合
本庁舎だけでは用事が済まず、他庁舎に行く必要がある	177	3.9%
行きたい部署や窓口がどこにあるか分かりにくい	824	18.2%
窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない	259	5.7%
窓口の待合スペース、廊下、階段、ロビーなどが狭い	576	12.7%
多目的トイレが少ない	261	5.8%
乳幼児を連れた人への配慮が足りない	143	3.2%
高齢の人や障がいのある人への配慮が足りない（バリアフリー対応が不十分）	344	7.6%
気軽に休憩できるスペースが少ない	409	9.0%
空調の効きがよくない・照明が暗い	431	9.5%
駐車場・駐輪場が少ない	293	6.5%
公共交通を利用しづらい	419	9.2%
その他	271	6.0%
無効回答	126	2.8%
合計	4,533	100.0%

本庁舎を訪れて不便に感じたことについては、「部署や窓口が分かりにくい」824件（18.2%）が最も多く、次いで「待合スペースなどが狭い」576件（12.7%）、「空調の効きがよくない・照明が暗い」431件（9.5%）、「公共交通を利用しづらい」419件（9.2%）、「気軽に休憩できるスペースが少ない」409件（9.0%）の順となっている。

(2) 年齢別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

年齢別に本庁舎を訪れて不便に感じたことを見てみると、10代では「部署や窓口が分かりにくい」が29%と高く、同様に20～40代でも平均よりも高い。また、10～20代の若年層では、「空調や照明が不十分」が平均よりもやや高くなっている。一方で、年齢層が高くなるに従って「多目的トイレが少ない」や「バリアフリー対応が不十分」が比較的高くなっている。また、80代以上で「公共交通アクセスを利用しづらい」と答えた割合が高くなっている。

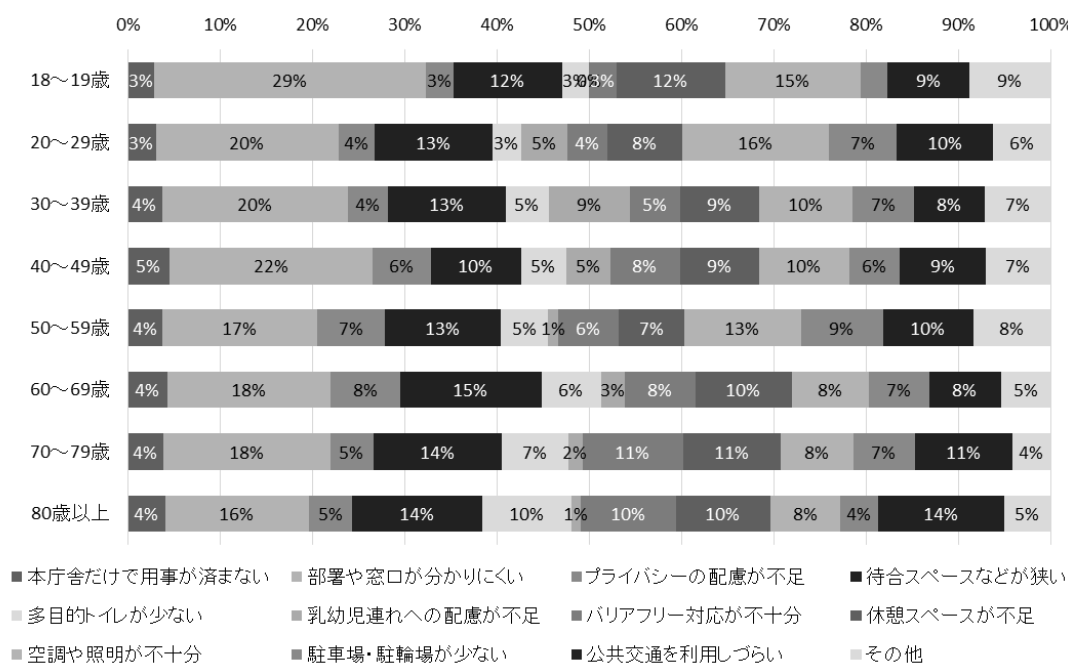


図 2-9.2 年齢別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

選択肢	本庁舎だけでは用事が済まず、他庁舎に行く必要がある	行きたい部署や窓口がどこにあるか分かりにくい	窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない	窓口の待合スペース、廊下、階段、ロビーなどが狭い	多目的トイレが少ない	乳幼児を連れた人への配慮が足りない	高齢の人や障がいのある人への配慮が足りない（バリアフリー対応が不十分）	気軽に休憩できるスペースが少ない	空調の効きがよくない・照明が暗い	駐車場・駐輪場が少ない	公共交通を利用しづらい	その他	無効回答	合計
18～19歳	1	10	1	4	1	0	1	4	5	1	3	3	1	35
20～29歳	8	51	10	33	8	13	11	21	41	19	27	16	8	266
30～39歳	20	108	23	68	25	47	29	46	54	36	41	38	13	548
40～49歳	33	159	46	70	36	34	55	62	70	40	67	51	26	749
50～59歳	27	119	52	89	36	8	46	51	89	63	70	59	13	722
60～69歳	40	165	70	142	60	24	71	97	78	61	72	50	18	948
70～79歳	35	162	42	125	64	14	98	95	70	60	95	37	30	927
80歳以上	13	50	15	45	31	3	33	33	24	13	44	16	11	331
無効回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	7
合計	177	824	259	576	261	143	344	409	431	293	419	271	126	4,533

(3) 家族構成別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

家族構成別に本庁舎を訪れて不便に感じたことを見てみると、全体の傾向とほぼ同じであった。

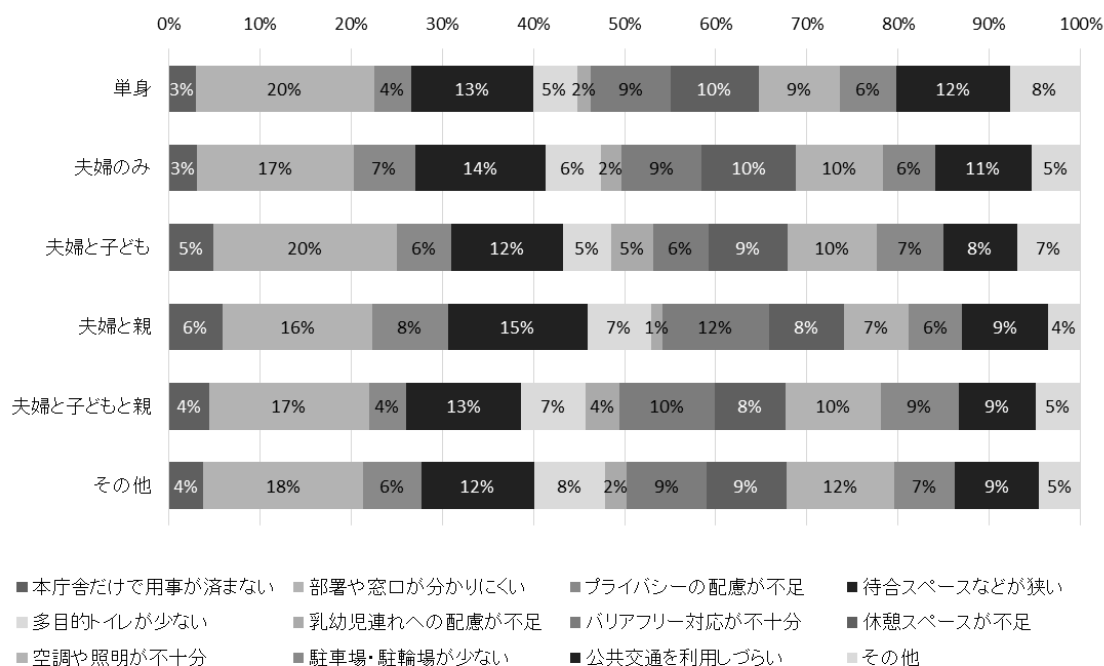


図 2-9.3 家族構成別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

選択肢	本庁舎だけでは用事が済まず、他庁舎に行く必要がある	行きたい部署や窓口がどこにあるか分かりにくい	窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない	窓口の待合スペース、廊下、階段、ロビーなどが狭い	多目的トイレが少ない	乳幼児を連れた人への配慮が足りない	高齢の人や障がいのある人への配慮が足りない（バリアフリー対応が不十分）	気軽に休憩できるスペースが少ない	空調の効きがよくない・照明が暗い	駐車場・駐輪場が少ない	公共交通を利用しづらい	その他	無効回答	合計
単身	15	101	21	69	25	8	45	50	46	32	64	40	22	538
夫婦のみ	41	226	89	188	80	31	115	137	126	75	140	70	29	1,347
夫婦と子ども	86	357	104	217	93	82	107	154	174	129	142	123	46	1,814
夫婦と親	5	14	7	13	6	1	10	7	6	5	8	3	1	86
夫婦と子どもと親	12	47	11	34	19	10	28	21	28	23	23	13	6	275
その他	16	74	27	52	33	10	37	37	50	28	39	19	15	437
無効回答	2	5	0	3	5	1	2	3	1	1	3	3	7	36
合計	177	824	259	576	261	143	344	409	431	293	419	271	126	4,533

(4) 職業別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

職業別に本庁舎を訪れて不便に感じたことを見てみると、「部署や窓口が分かりにくい」「待合スペースなどが狭い」等の内部環境に関しては、職業に関わらず一定の割合があった。また、「農業」では「駐車場・駐輪場が少ない」が平均と比べて高い割合となっている。さらに「農業」「自営業・自由業」では、ともに「本庁舎だけでは用事が済まない」が平均と比べて高い割合となっている。

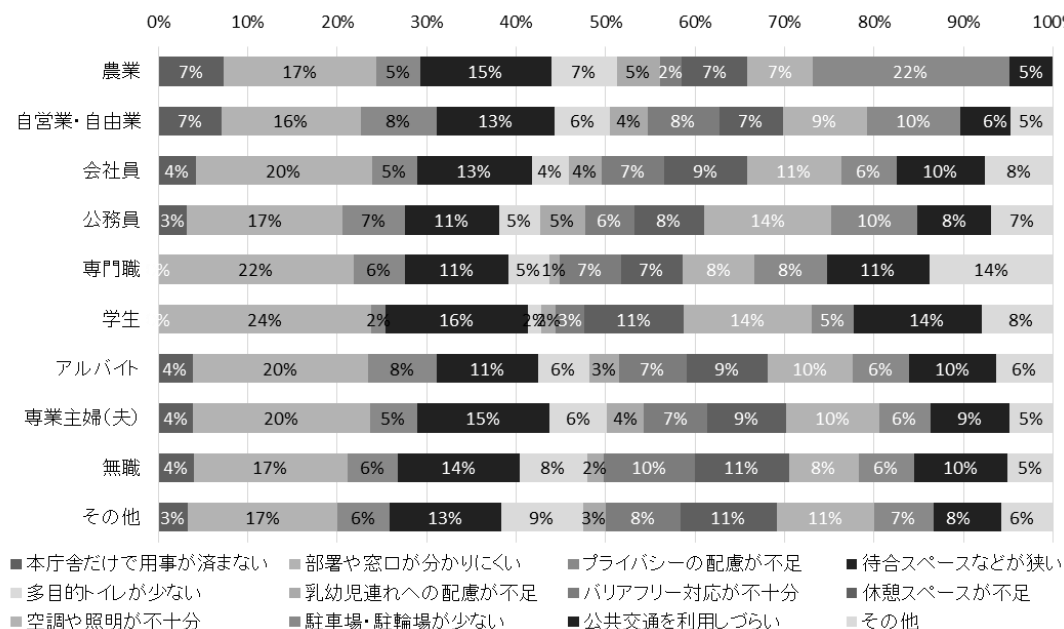


図 2-9.4 職業別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

選択肢	本庁舎だけでは用事が済まず、他庁舎に行く必要がある	行きたい部署や窓口がどこにあるか分かりにくい	窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない	窓口の待合スペース、廊下、階段、ロビーなどが狭い	多目的トイレが少ない	乳幼児を連れた人への配慮が足りない	高齢の人や障がいのある人への配慮が足りない（バリアフリー対応が不十分）	気軽に休憩できるスペースが少ない	空調の効きがよくない・照明が暗い	駐車場・駐輪場が少ない	公共交通を利用しづらい	その他	無効回答	合計
農業	3	7	2	6	3	2	1	3	3	9	2	0	0	41
自営業・自由業	15	33	18	28	13	9	17	15	20	22	12	10	8	220
会社員	47	220	57	143	47	40	79	103	118	69	111	85	28	1,147
公務員	7	38	15	23	10	11	12	17	31	21	18	15	3	221
専門職	0	19	5	10	4	1	6	6	7	7	10	12	4	91
学生	0	15	1	10	1	1	2	7	9	3	9	5	2	65
アルバイト	24	123	48	71	36	21	47	57	60	39	61	40	20	647
専業主婦(夫)	30	152	40	114	49	32	54	68	80	44	68	37	21	789
無職	45	194	64	154	85	21	115	119	88	71	117	58	29	1,160
その他	4	20	7	15	11	3	10	13	13	8	9	7	3	123
無効回答	2	3	2	2	2	2	1	1	2	0	2	2	8	29
合計	177	824	259	576	261	143	344	409	431	293	419	271	126	4,533

(5) 居住期間別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

居住期間別に本庁舎を訪れて不便に感じたことについては、全体の傾向とほぼ同じであった。

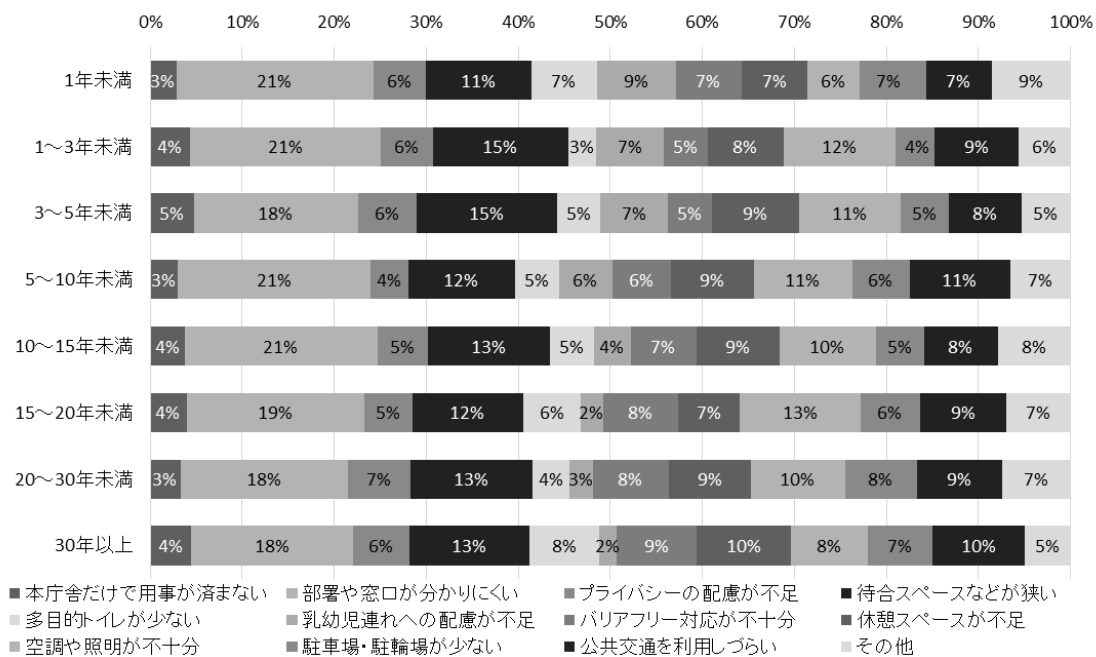


図 2-9.5 居住期間別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

選択肢	本庁舎だけでは用事が済まず、他庁舎に行く必要がある	行きたい部署や窓口がどこにあるか分かりにくい	窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない	窓口の待合スペース、廊下、階段、ロビーなどが狭い	多目的トイレが少ない	乳幼児を連れた人への配慮が足りない	高齢の人や障がいのある人への配慮が足りない（バリアフリー対応が不十分）	気軽に休憩できるスペースが少ない	空調の効きがよくない・照明が暗い	駐車場・駐輪場が少ない	公共交通を利用しづらい	その他	無効回答	合計
1年未満	2	15	4	8	5	6	5	5	4	5	5	6	6	76
1～3年未満	10	48	13	34	7	17	11	19	28	10	21	13	4	235
3～5年未満	9	34	12	29	9	14	9	18	21	10	15	10	3	193
5～10年未満	12	83	16	46	19	23	25	36	42	25	43	26	11	407
10～15年未満	16	88	23	56	20	17	30	38	44	22	34	33	19	440
15～20年未満	16	78	21	49	25	10	33	27	53	26	38	28	10	414
20～30年未満	25	137	52	100	30	19	63	67	77	59	70	56	23	778
30年以上	87	340	118	253	146	37	168	198	162	136	193	96	43	1,977
無効回答	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	7	13
合計	177	824	259	576	261	143	344	409	431	293	419	271	126	4,533

(6) 居住地別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

居住地別に本庁舎を訪れて不便に感じたことを見てみると、「公共交通を利用しづらい」の回答率が、現庁舎の所在地である「大和田地域」が5%であるのに対し、他の地域では9~15%の割合となっている。

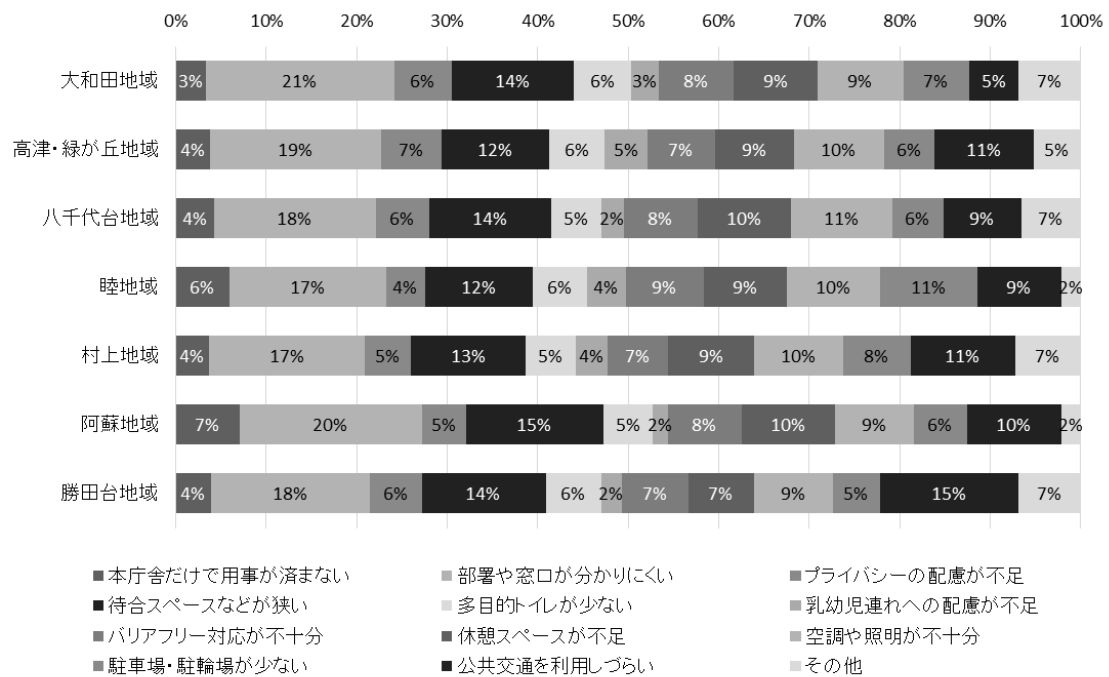


図 2-9.6 居住地別 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

選択肢	本庁舎だけでは用事が済まず、他庁舎に行く必要がある	行きたい部署や窓口がどこにあるか分かりにくい	窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない	窓口の待合スペース、廊下、階段、ロビーなどが狭い	多目的トイレが少ない	乳幼児を連れた人への配慮が足りない	高齢の人や障がいのある人への配慮が足りない（バリアフリー対応が不十分）	気軽に休憩できるスペースが少ない	空調の効きがよくない・照明が暗い	駐車場・駐輪場が少ない	公共交通を利用しづらい	その他	無効回答	合計
大和田地域	38	235	72	153	72	34	94	105	107	83	61	78	35	1,167
高津・緑が丘地域	33	164	58	104	53	41	65	76	86	49	95	45	25	894
八千代台地域	34	144	47	109	44	20	66	83	90	45	69	53	27	831
睦地域	11	32	8	22	11	8	16	17	19	20	17	4	5	190
村上地域	27	126	37	93	40	26	49	69	72	55	84	53	14	745
阿蘇地域	13	37	9	28	10	3	15	19	16	11	19	4	5	189
勝田台地域	17	77	25	60	27	10	32	32	38	23	67	30	10	448
無効回答	4	9	3	7	4	1	7	8	3	7	7	4	5	69
合計	177	824	259	576	261	143	344	409	431	293	419	271	126	4,533

(7) その他を選んだ方の回答

- ・ 問8の回答総数 4,533 件の中でその他と回答した 271 人のうち、自由回答欄について 200 人から回答があった。(複数回答可)
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 庁舎の機能に関わること」、「2. 室内環境に関わること」、「3. 庁舎の運営に関わること」、「4. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は 254 件であった。

		件数	割合
1	庁舎の機能に関わること	84	33.1%
	立地・アクセスに関わること	35	13.8%
	駐車場に関わること	27	10.6%
	ユニバーサルデザインに関わること	7	2.8%
	飲食・物販に関わること	7	2.8%
	機能の分散に関わること	1	0.4%
	その他の機能に関わること	7	2.8%
2	室内環境に関わること	89	35.0%
	暗い・汚い	44	17.3%
	トイレが暗い・汚い	20	7.9%
	老朽化	11	4.3%
	雑然としている	9	3.5%
	耐震性能に不安がある	3	1.2%
	その他 空間の使い方に関わること	2	0.8%
3	庁舎の運営に関わること	42	16.5%
	職員の対応に関わること	28	11.0%
	庁舎の運営に関わること	14	5.5%
4	その他	39	15.4%
	不便に感じたことはない	19	7.5%
	庁舎を訪れる機会があまりない	9	3.5%
	その他	11	4.3%
合計		254	100%

- 回答の上位は、「暗い・汚い」、「立地・アクセスに関すること」、「職員の対応に関すること」の順となっている。

3. 自由記述回答欄に寄せられた回答

- ・ アンケート票末尾の自由記述回答欄について、637 人から回答があった。
- ・ 寄せられた意見について、大きく「1. 予算に関わる意見」、「2. 利用しやすさ・働きやすさに関わる意見」、「3. 新庁舎に望む機能」、「4. 整備手法等に関わる意見」、「5. その他」に分類し、一覧表として整理した。
- ・ 複数の意見を含む場合は、それぞれの該当項目にカウントし、総意見数は 1,094 件であった。

		件数	割合
1	予算に関わる意見	256	23.4%
	事業コストについて	94	8.6%
	市の財政・財源について	69	6.3%
	市民負担への影響について	46	4.2%
	コストを抑える仕組みについて	26	2.4%
	長期的な経済合理性について	21	1.9%
2	利用しやすさ・働きやすさに関わる意見	332	30.3%
	交通アクセスについて(駐車場、交通手段、立地、周辺整備状況など)	93	8.5%
	利用しやすさ・働きやすさ	52	4.8%
	室内環境(明るさ、広さ、清潔さなど)	56	5.1%
	デザインよりも機能性を重視、華美なデザインは不要	46	4.2%
	庁舎機能の統合・分散について	39	3.6%
	ユニバーサルデザイン、バリアフリー(優先駐車場、多機能トイレなど)	32	2.9%
	その他サービスについて(共用スペース、サービスの充実など)	14	1.3%
3	新庁舎に望む機能	157	14.4%
	窓口・案内	62	5.7%
	食堂・レストラン・売店等	32	2.9%
	緊急・災害時対策	15	1.4%
	環境対策(太陽光パネル)	16	1.5%
	耐震性能の確保	7	0.6%
	その他庁舎に関わる意見・要望	25	2.3%
4	整備手法等に関わる意見	198	18.1%
	他の事業を優先すべき、優先順位を考慮すべき	47	4.3%
	整備手法に対する要望・提案	38	3.5%
	整備手法・事業手法の検討プロセスの透明化	35	3.2%
	市のシンボルとしてふさわしいものとしてほしい	27	2.5%
	早急に整備すべき	21	1.9%
	事業手法に対する要望・提案	19	1.7%
	建替えは不要である	11	1.0%
5	その他	151	13.8%
	本事業以外の市政に関すること	49	4.5%
	職員の対応に関すること、業務効率化に関すること	42	3.8%
	アンケートに対する意見	37	3.4%
	庁舎を訪問する機会がない	5	0.5%
	その他コメント	18	1.6%
合計		1,094	100.0%

- 回答の上位は、「事業コストについて」、「交通アクセスについて」、「市の財政・財源について」の順となっている。
- 庁舎までの交通アクセスについては、駐車場や交通手段、立地、周辺整備状況等に関する意見が得られた。
- また、窓口機能や案内、室内環境の改善等、庁舎について使いやすさやわかりやすさを求める意見も多く寄せられた。

4. アンケート結果のまとめ

本アンケートから庁舎整備に対する市民の意向を以下のとおり整理した。

(1) 経済性の観点

- ・ 庁舎整備の方法については約 7 割が「建替え」がよいと回答しているが、その理由として「長期的な経済合理性」を重視する傾向が読み取れる。一方、「耐震補強」、「分からない」と回答した理由として、市の財政状況や市民負担への影響を懸念する意見が多いことから、事業費の縮減に努めるとともに市民に対する情報提供を丁寧に行っていく必要があると考えられる。
- ・ 子育てスペースや市民協働スペース等の付加機能を求める意見は多くないことから、必要最小限の機能を備えたコンパクトな庁舎が求められていると考えられる。

(2) 機能性の観点

- ・ 現庁舎に関しては、「部署や窓口がわかりにくい」、「待合スペースなどが狭い」といった手続きの際の窓口の利便性や滞在の快適性に関する指摘が多く寄せられている。また、現庁舎を訪問した際の印象については、「老朽化が目立つ」、「空調の効きがよくない」、「照明が暗い」といった内部環境に関する指摘が目立った。
- ・ 庁舎内の窓口を一本化した「総合窓口」の導入等、様々な行政手続きを一度に行える「ワンストップサービス」のような仕組みが求められている。
- ・ 老朽化による「暗い・汚い」というイメージを更新し、明るく快適な室内環境への改善を図ると同時に、来庁者に配慮したゆとりのある空間構成やユニバーサルデザインを取り入れた整備が求められている。
- ・ 自由記述回答欄に寄せられた意見を参照すると、庁舎への交通アクセスの改善が求められていることが読み取れる。本庁舎を訪れる交通手段については「自家用車」と回答した割合が 6 割以上と最も多く、駐車場の整備状況への意見や要望が多いことがうかがえる。

(3) 防災性の観点

- ・ アンケート全体を通して、庁舎の防災拠点としての機能に対する関心が高いことがうかがえる。
- ・ 地震発生時に来庁している市民や執務中の職員の安全確保のほか、災害対策活動の拠点機能やその他市民生活を支える行政機能を維持させることが求められている。
- ・ 上記のような拠点機能のほか、一時避難への対応（災害時の避難スペース、防災備蓄倉庫等）についてもニーズがあることがわかった。

以上、本アンケート調査の結果を踏まえ、庁舎の規模、機能、整備手法等について検討を進めていく。